滿洲日報
六月二十四日發行

通貨安定案の責任をアメリカに負はす肚
經濟會議幹部の苦肉策

【東京特電二十四日發】ロンドン來電によればアメリカ代表部の二十二日突如なした聲明は經濟會議を危機に陷れたが、マクドナルド議長の斡旋により二十三日朝來息を吹き返し、イーマンス副議長も如何なることあるも會議を停頓せしむることなしと聲明した、アメリカを除く經濟會議幹部の方針はアメリカが結局通貨を安定するとの假定の下に各委員會の議事を進め、協定をつくりその際若しアメリカが通貨安定策を講ぜざるときは、右協定が水泡に歸するといふ責任をアメリカに負はせんとするにあるらしく、ローザンヌ會議で英佛がアメリカに對してとつた戰略に似てゐる

引き上ぐべしとのアメリカの提案には大體各國の意見一致した

經濟會議休會說流布
米國の聲明に不安去らず

【ロンドン二十三日發國通】二十二日米代表部が爲替安定の時期に非ずとなし、物價の釣上げの必要のみを强調した聲明を發表した結果俄然經濟會議は非常な衝動を受け混亂狀態を呈したが、この不安は今日に至るも依然去らず會議關係方面ではアメリカとの間に爲替安定の協定に達する事が出來なかつた事は極めて重大な異議があるといふに意見一致、會議休會說をすら眞面目に口にするものが益々多くなつて來た、もつとも休會說は公式には左樣の事は絕體にないと極力否定されてゐる

議長狼狽して否定
會議促進の意氣込表明

【ロンドン二十三日發國通】米代表部の爲替安定拒否聲明と共に經濟會議の前途に對する悲觀說は益々有力となり、會議を今秋まで休會するに決したとの說が流布されるに至つたので、會議關係の首腦部方面ではこの悲觀說が齎すべき心理的影響を惧れ些か狼狽の氣味あり、二十三日午後マック議長は各國記者團に對し右風說を否定し左の如く會議促進の意氣込みを語つた

會議は愈々來週で第三週目に入るが、第三週は恐らく我々入力の糾合を達成する時期とならう大體國際會議といふものでは第二週目は何時も悲觀論の出る時と相場が決つてゐるが、今度の會議だけはさうでないのだ、會議が今秋まで休會する等といふ風說は全く取るに足らぬ

佛新聞の悲觀論

【ロンドン二十三日發國通】既報の如くマック議長が記者團に突然の聲明をなすに至つたのは極度に悲觀的な新聞報道、殊に佛新聞の態度に驚きその一般に及ぼす心理的影響を惧れたからで、二十三日のパリ各紙の如き異口同音に二十二日の米代表部の聲明においてル大統領は特に經濟會議の死の弔鐘を撞き鳴らしたものとして會議に對する希望を全然放擲したかの感があつた、他方幾分樂觀的な方面では通貨及び經濟兩委員會の各分科委員會が着々具體的實質討議を進めてゐる事實を指摘し、これは會議が活力を有してゐる證據だとしてこれに期待を繫いでゐる

通貨小委員會

【ロンドン廿三日發國通】本日午前十一時より開會された通貨、金融第二分科委員會技術小委員會ピツトマン決議案中の金準備に關する部分を議題とし、一般討議を行ひ發券に關する金準備を二割五分に引下ぐる案その他が審議に上つたが、取敢ず金貨を流通市場より

經濟外交に關し深刻な質問豫想
樞府の關稅休日案初審議會

【東京二十四日發國通】樞密院における關稅休日案初審議會は二十四日午前九時半から宮城內樞府事務所において樞府側倉富、平沼正副議長、富井審査委員長以下各委員、二上書記官長出席、政府側から藏相、外相、商相、農相其他關係官出席の上審議が開かれ、先づ政府側の案の說明に次いで政府側に對し各審査委員から交々外交方針及び日本財界の將來と經濟會議との關係及びその影響等について辛辣な質問が提起されるものと傳へられるが、殊に最近經濟問題を中心としての外交は事毎に追隨たる事とするのみならず全く前途暗澹たり、かくては聯盟脫退によつて長年の惡習を離脫し漸く自主外交の確立を期したのも束の間水泡に歸するので、この點特に突きこんだ質問が行はれるとの事である、而してこの形勢を察知した政府側にても外相より樞府側に對し最近の外交情報を說明、報告することになつてる

通信會社に伴ふ關東廳官制改正
遞信省から横槍

【東京二十四日發國通】日滿合辦の滿洲電信電話會社の設立に伴ふ關東廳の官制改正案は同じく樞府の御諮詢事項である關東州及び滿鐵附屬地の電氣通信令改正案が附屬文書を除き二十三日の閣議において決定せるにも拘らず、遞信省が官制上に疑義ありとして暗に監督上の發言權を得んとする横槍のため行惱みの狀態にある然しながら今回の改正案は既に法制局の審査承認を經たるものであり、理論上毫も疑義の餘地なきものであるから拓務省としては時局から閣議に於ける物議を避けるため今日迄隱忍し來りたるも該會社の設立により改正の必要が目睫の間に迫り來つたので、愈々近く(成るべく來週中)正式に上程承認を求める意向であるが、大連汽船の問題以來睨み合ひの狀態である遞信省、拓務兩當局の關聯事項であるだけにその成行きは注目すべきものがある

英蘇首腦會見
經濟復活への出發點として
各方面で重大視す

【ロンドン二十三日發國通】來る二十六日に行はれるサイモン外相とリトヴイノフ氏の會見はイギリスの對蘇經濟復活問題に關する重大な出發點として各方面の注目を惹いてゐるが、この問題に對するイギリス側の一般的態度は英蘇經濟斷交を以て純然たる政治問題であつて經濟問題でないから國際經濟會議の範圍外に屬するものであるとして居る、他方ソウエート側ではイギリスの禁止を飽迄貿易障碍の一種であるとし、米首席代表ハル長官が會議に提出した貿易障碍除去に關する決議案を極力支持する態度を執つてゐる、從つて一般に今日迄の會議の進展は米露復交への極めて明確な下準備をしたものであるとせられてゐる

滿鐵株主總會 二十日丸ノ內鐵道協會における滿鐵株主總會、壇上議長席の林總裁と報告中の八田副總裁

關東廳遞信局で約二百名を增員
事變以來事務繁忙に

關東廳遞信局では滿洲事變以來小包、郵便、電信、電話、爲替、貯金等の事務著るしく輻湊し且つ事業範圍も擴張され從來の定員では到底事務の遂行上圓滑を期せられざる狀態になつたので八年度にはこれに伴ふ事業增進費として二十三萬九千六百圓を計上し官制を改正して定員の增加を圖るべく計畫中であつたが、いよ〳〵豫算も認可されたので、經常部において書記十一名、書記補十二名、技手三名、計二十六名、臨時部において書記十五名、書記補三十一名、計四十六名、總計七十二名の增員を認めるに決定、目下これが官制改正に就いて藤井局長以下各課長連日拓務省と協議大體の成案を得た、近く關東廳經由、拓務省、法制局の審議を經て閣議に上程される筈である、この外に事務員百二十六名の增員も認める豫定である、なほ右增員の官制改正が濟めば今度は電信電話會社の設立に伴ひその權限が縮小されるので減員の官制改正が行はれる筈であると

遞信局異動

關東廳遞信局では通信會社の設立ならびに小包、郵便、電信、電話、爲替、貯金等事務輻湊により管內各郵便局長の應援を求める事にし二十三日附左記大異動を行つた

奉天郵便局長遞信副事務官　馬淵俊一
安東郵便局長遞信副事務官　澤田猷治
大連中央電話局長遞信副事務官　建部昌滿
奉天郵便局庶務課長遞信書記　須田德市
鐵嶺郵便局長遞信書記　尾崎重樹
柳樹屯郵便局長同上　加藤三吉
蘇家屯郵便局長同上　香取音四郎
沙河口郵便局長同上　松尾勝三
遞信局勤務を命ず(各通)
奉天郵便局電話課長技師　毛呂邦次
奉天郵便局長心得兼務を命ず
安東郵便局書記　中川周作
安東郵便局長心得兼務を命ず
大連中央電話局技手　鈴木憲四郎
大連中央電話局長心得兼務を命ず
安東郵便局書記　櫻間四萬年
奉天郵便局庶務課長を命ず
安東郵便局書記補　高橋明
鐵嶺郵便局庶務課長心得を命ず
鐵嶺郵便局書記　羽生實
鐵嶺郵便局長心得兼務を命ず
大山通郵便局書記補　阿部鐵藏
柳樹屯郵便局長心得を命ず
昌圖郵便局書記補　三坂善四郎
補蘇家屯郵便局長
奉天郵便局書記補　田上已熊
昌圖郵便局長心得を命ず
開原郵便局書記補　牛島孝
開原郵便局庶務係主任心得を命ず
沙河口郵便局書記　野尻哲
沙河口郵便局長心得及大連中央電話局沙河口分局長心得兼務を命ず

鐵路總局視察

【奉天電話】宇佐美鐵路總局長は奉山線の視察を終り更に四洮、洮昂、齊克、呼海の諸線巡視のため伊澤、太田兩次長その他を伴ひ二十四日午前十一時奉天驛を出發した

七年度決算剩餘金二千萬圓
大藏省主計局の見積

【東京二十四日發國通】大藏省主計局では目下七年度決算の見積に關し計數の推定を行つてゐるが、それによれば左の如く純剩餘金二千萬圓見當を出す見込みである

一、歲出不用額三千萬圓　その主なるものは滿洲事件費に伴ふ陸軍豫算經常部軍事費の不用額並びに大藏省の國債費である
一、歲入增加一千二百萬圓　租稅において九百萬圓程減收となるが、電信、電話收入は既に四月末において豫算に比し一千六百萬圓の增加を示し、專賣局益金は五百萬圓の增加を示す見込となつてゐるので、差引一千二百萬圓位は增收を見積り得る譯である
一、卽ち右によれば兩者合せて形式上の剩餘金は四千二百萬圓となり、この中より歲出繰越金二千萬圓を睹つて殘り二千二百萬圓程度が純剩餘金として現はれる譯である
一、從つて七年度赤字公債未發行額二千四百萬圓は恐らく全然發行せずに濟むものと豫想される

海相軍港視察

【東京二十三日發國通】大角海相は軍港視察を爲すべく山本秘書官を帶同二十三日午後一時東京驛發一路佐世保に向つた、先づ佐世保軍港を視察した上德山燃料廠、吳軍港視察續いて大阪、神戶に於ける軍需品工場を視察七月一日午後四時五十五分東京着の豫定である

松島外事課長
シムラ會議後に榮轉

關東廳松島外事課長は外務省よりの招電に接し二十四日午後二時五十分着列車で來連、二十五日出帆の香港丸で內地に向ふが、今度の用件は近くシムラにおいて開催される日印會議に澤田全權の首席隨員として約五ケ月間同地に赴き滯在するはずで歸任と同時に外務省樞要の地位に榮轉する模樣である

鳥鐵代表引揚を滿鐵重大視せず
交涉打切と看做さず

ソウエート政府が滿鳥協定に見限りをつけ代表キルサノフ氏に歸朝命令を發したとの情報に關しては滿鐵本社には二十四日正午まで何等の通知もないが、滿鐵側としては同協定の交涉進展如何はさして重大な問題でなく、またソウエート側がこれの破棄を通告せぬ限り現狀のまゝ存置することとなつてゐるため、キ氏の引揚に對しても極めて冷靜な態度を持して居りまた關係方面ではキ氏の本國引揚の理由は滿鳥協定改訂打切がその原因でなく、北鐵問題の一段落に因るものであると觀測してゐる、卽ち滿鳥協定改訂協議は本年一月以來殆んど中止の形にあつたが、ソウエート本國政府ではその後北鐵の問題が車輛返還問題からトランジツト問題にまで進展し、日滿對ソウエートの關係が極度に惡化した爲この間の情報連絡その他のためにキ氏に駐哈を命じてゐたものであるしかるに最近北鐵買收問題の擡頭と共に北鐵問題も漸時好轉しその前途の見極めのついたゝめキ氏の歸朝命令が實現したものであるとしてゐる

熱河行 (六)
武藤夜舟

愛國號

熱河作戰に於ける飛行機の活躍は實に目覺ましいものである、其地上部隊との協同動作は全く理想的に實施せられた、承德、建昌營の兩飛行場を訪問したが、灰色に塗られた幾多戰鬪飛行機の中に、國民銃後の力の結晶である愛國號の英姿を見た時、何とも云ひしれぬ嬉しさを感じた、就中、愛國兒童號の命號を見た私は思はず目頭の熱くなるのを覺えたのである。

部隊長會議の出席者

【新京電話】廿七八兩日關東軍司令部會議室にて開催する部隊長會議は第一線部隊長たる西、松木、坂本、廣瀨、茂木、高波、服部各將軍に旅順要塞司令官安藤中將、獨立守備隊司令官井上中將、關東憲兵司令官橋本少將、關東軍飛行隊長牧野大佐の諸將星等にこれに關東軍司令部より武藤軍司令官、小磯參謀長、岡村參謀副長を始め各課長が參加する

見送りませう
白衣勇士凱旋
廿五日朝十時半河南丸

前田政調會長
三土鐵相を訪問

【東京廿四日發國通】前田政友會政務調査會長は廿三日午後五時半三土鐵相を麻布の私邸に訪問し近く發表せんとする新政策の腹案を示して意見を質し諒解を求むるところあつた

滿洲國教員團
本月末着京

【東京二十四日發國通】滿洲國は今度日本の教育施設を參考に幼年教育から大學まで根本的の改革を行ふに決し、之がため大學、中學、小學各階級の現職教員中から十名の代表者を東京高等師範に入學せしめたいと同校に申込みがあつたが、高師でも大歡迎で聽講生又は研究生として迎へる事になつた、十名の代表教員は本月末着京するが、一行は約一ケ月間同校に入學し授業の傍ら、教授の實際狀況を調査し本國に歸つた上教育制度の改革に着手の筈

人事

▲河本大作氏(滿鐵理事)二十四日午前八時着列車で着連
▲石井漠氏一行(舞踊家)同上
▲市川準一氏(笠戶船渠專務)同上遼東ホテル投宿
▲山口十助氏(滿鐵々道部營業課長)同九時發はとで新京へ
▲高橋康順氏(滿洲國實業部總務司長)同上赴任
▲庄田作輔氏(關東軍特務部員)同上
▲中井武雄氏(同)同上
▲菱沼勇氏(同)同上
▲オー・アール・グリムセイ氏(コロンビヤ蓄音器副社長)同上奉天へ
▲ビー・デー・リンドストロム氏(同滿洲地方營業部長)同上
▲メール氏(同本社營業部次長)同上
▲國包コロンビヤ大連支店長　同上
▲小林鐵太郎氏(元關東長官秘書官)滿洲視察旅行を終へ二十四日タコマ丸にて離連、東京へ
▲藤澤友吉氏(大阪藤澤商店社長)二十四日朝はとにて朝鮮經由大阪へ
▲小室俊夫氏(三井大連支店長代理)嚴父危篤のため二十四日發の飛行機で鄕里大阪へ

蛇の角

◇
關稅休日案に、印度だけは動かさうといふ、無慈悲なオヤヂ、その名を英政府といふ。
◇
その英國、小國に反噬されてヘドモド、日本苛めに小國を飼つて置いた酬いに。
◇
日本とソ聯、ソ聯と滿洲、あつちで喧嘩したり、こつちで仲よくしたり、握手と拳固の三ツ巴。
◇
秋擊老に春が甦り、大あつ〳〵の場面展開。
◇
滿鐵、サンマー・タイム拒否、序にサボ・タイムも拒否せよ。

犯人懸賞捜査
不法射擊事件

【北平特電二十四日發】二十一日當地哈達門大街において支那正規兵が演習歸りのわが駐屯兵を射擊した事件に對し、わが有吉公使より何應欽に嚴重なる正式抗議を提出し、支那側は我强硬態度に驚いて犯人の捜査に着手したが未だ逮捕にいたらない、何應欽は公安局に嚴命を下し同時に犯人逮捕に五千元の懸賞を附せる旨傳へらる

東天紅 (123)
田中純　林一三　畫

黃薔薇 (六)

「相良さんが、お見舞ひ下さつたのでございますか」

石のやうに佇んで居る鮎子に、先づ口を切つたのは、文子だつた。

彼女は、窓子の容體が今、幾らか小康を得て居る寸暇を盜んで、隣室の相良の病室に見舞ひに來てゐたのだつた。

「はア、しかし、相良さん、どうなすつたのでございます？」

鮎子も、寢臺に寄つて行つた。

「まア、しかし、お掛けなさいまし」

文子が、そばの椅子をすゝめたが、鮎子は腰かけなかつた。

「よほど、惡いのでございますか？」

「はア、どうも、餘りよくございませんのですよ」

「だけど、何時からそんなにお惡いのでございます？」

しかし、文子はそれに答へないで

「あなた、松波さんのお孃樣でゐらつしやいますわね」と言つた。

「はア、しかし、どうしてそれを？」

「私、あの晚のことを、相良さんから伺ひましたの。そして、あるひはあなたが來て下さるのではないかと思つて、心の中でお待ちしてましたの。――あゝ、申しおくれましたけれど、わたくし、神田の家內でございます」

「それでは、やつぱり、あの晚から お惡いのでございますか？」

鮎子はさう言つて、思はず、相良の寢顏を見つめないでゐられなかつた。

「はア、いえ、さうではございませんの。尤もあの晚、あんなことがなかつたら、あるひは、こんなことにならないで濟んだかも知れないと思ふのでございますけれど」

「だけど、一體、何處がお惡いの？」

「何處と言つて、特に惡いところがあるわけではございませんけれど、たゞ大變衰弱してらつしやるんですの」

「まア、しかし、先月はあんなに御丈夫さうでしたのに」

「その點で、本當に、わたくし、相濟まないと思つて居るのですけれども」

文子はさう言つて、苦しさうにしばらく、言葉を切つたが「わたくし、せつぱつまつて、相良さんに、輸血をお願ひしましたの」

「輸血？まア、どなたにでございます？」

「私の子供にですの。只今、お隣の部屋で寢んでますけれども、それが、一週間ばかり前、疫痢にかゝりましてね。一時はもう駄目だと言ふところまで、行きましたの。この上はもう輸血で、最後の運命をためすより外にないと言ふことになつた時、相良さんが、僕の血を上げませうと言つて下さいましたの。實際、その時に相良さんよりほかに、うまく合ふ血がありませんでしたし、輸血に堪へ得るほど丈夫さうな方も、ちよつとほかにゐなかつたものですから、つい、御厚意に甘えてお願ひしたのでございますが、それが、どうも少し輕率だつたらしいのでございます。輸血は、前後で丁度三度います。尤も對手が子供のことですから、比較的少量づゝお願ひしたのですけれど、その三度目の血をいたゞくとすぐ、突然、卒倒なすつたので、慌てゝこの部屋に擔ぎ込んだのですけれど……」

「まア、しかし、相良さんほど御丈夫さうな方が、どうしてそんなことにおなりになつたのでせう？」

「それが、私の非常に輕率な點だつたのですけれど、實は、その前あなたにお會ひになつた日に、可なりなお怪我をなすつて、歸つていらしやいましたの」

ゴールド・ラッシュ狂躁曲

黃金魔が金に破れて藝妓と服毒心中

男は死に切れず腹を刺して兩名とも生命危篤

ゴールド・ラッシュ時代に登場して花やかな主役を演じた黃金魔が情婦との情痴の生活に破綻を來し服毒心中を企てた——二十四日午前四時四十分ごろ大連逢坂町遊廓美人館の抱藝妓市丸こと田中睦子(二一)の部屋から斷末魔のうめき聲が聞えるので朋輩藝妓トシ子が部屋をのぞいて見ると市丸と內縁の夫市內近江町一九七松下太郎吉方島藤右衛門(二一)とがのたうち廻つて苦悶してゐるので大騷ぎとなり最寄の醫師を迎へると同時に大連署から吉富警部補、山本鑑識係員出張檢視した、女はカルモチン九十錠、男は多量の猫イラズを呷つて自殺を企てたが、男はなほも死切れぬので折込みナイフで腹を突き刺してをり、鮮血は部屋に四散して凄慘を極めてゐた、女は聖愛醫院に、男は堀江醫院に收容したが兩名共生命覺束ない【寫眞は島と市丸】

金塊を密輸して落籍した市丸

金に詰つてまた左褄

島は昨年四月中旬から從兄と共に金塊密輸に從事し一時は莫大な儲けをなして華やかな生活を營み當時美人館に左褄を取つてゐた市丸を千五百圓で落籍し昨年末女の郷里熊本縣下益城郡守富村へ二人で歸つてゐたが、金塊密輸も取締嚴重で思はしくなくなり去る四月女の母親ミサ(四五)を連れ再び來連、間もなく生活難から妻を前借六百圓で美人館へ二度の勤めに出した、ところが間もなく金密輸の舊惡が露見して捕へられ、大連檢察局で略式をもつて罰金五十圓を言渡されて出所した、ところが女の母親は「監獄へ行く樣な男は末の見込みがない」と最近男に別れ話を持ちかけたので、半ば自暴自棄となつてゐた島は、母親への面當てに心中を決意し二十三日夜更けて美人館に登樓、午前二時頃心中を企てたものらしいが、枕頭には「金には敗けたが娘は貰つてゆく」と母親に宛てたものと樓主や友人に宛てた遺書數通が殘してあつた

光る突堤 入船出船

猪俣氏を留置

【東京二十四日發國通】マルクス經濟學の權威者元早大講師猪俣津南雄氏(四五)は二十一日朝澁谷幡ケ谷の自宅より代々木署に召喚留置され警視廳特高部の手により取調べを受けてゐる

五・一五事件 海軍側公判 七月廿四日第一回開廷

【東京二十四日發國通】五・一五事件海軍側軍法會議につき二十三日午後一時より海軍省において法務局側と辯護人側と協議した結果

一、第一回公判期日七月二十四日とす

一、軍法會議は勿論東京海軍々法會議が主管するが法廷は便宜上橫須賀鎭守府軍法會議法廷とす

一、高須判士長以外の軍法會議職員左の如し

判士	海軍少佐	大和田昇
同	海軍大尉	藤尾勝夫
同	同	木阪義胤
主理	法務官	高頻治
檢察官	法務官	山本孝治

等を決定午後四時散會した右協議の結果現役海軍士官二名を限り特別辯護人たることを許可することを內定した模樣である

病床の勇士を懇に見舞ふ

奉天に凱旋の西將軍

【奉天電話】堅固なる陣地を構築し頑強に抵抗する長城の支那兵を驅逐し南天門から懷柔にいたるまでの間激戰を續けて遂に支那兵を完全に敗走せしめ赫々の武勳を樹てた西〇團長は二十二日奉天に凱旋し二十四日午前九時その戰ひに名譽の戰傷をした將兵を奉天衛戍病院に親しく見舞つたが

南天門、密雲、懷柔等幾多の天嶮を冒して頑強に抵抗する支那兵を諸君さともに戰つて見事に破り今日の戰勝を得たのは全く諸君のお蔭だ、一部の戰友は喪つたが毅然として山上に立ち東天に向ひ天皇陛下の萬歲を三唱したその時の心持ちを永久に忘れてはならぬ、國威宣揚さいふのはかういふことをいふのである、有難う、なほこれから暑くなるから充分體を大切にして

と慈父にまさる激勵の慰問の言葉に西〇團長閣下にあつて感激し傷を負うた佐久間少佐以下八十九名は感激の淚に滿ちながら

癒つたらまたお國のために何處までもつくします

と堅い決意を示した、なほ將軍は最後に石匣鎭の攻擊に大腿部に盲貫銃創を負ふた伍長勤務大矢千代作氏の病室をわざわざ見舞ひ

お蔭で見事に勝つたから安心してくれ、有難う、ではこれで會へぬかも知れぬから充分大事に

との言葉をかけ勇士を感激せしめてゐた

帝都に悲し死の凱旋 髑髏隊の勇士

【東京二十四日發國通】長城線の各戰鬪で髑髏隊の勇名を馳せた池上英雄中尉以下決死隊の遺骨五十八基と千葉部隊遺骨二基、弘前部隊百七基、宇都宮部隊六基は二十四日午前五時五分、同五時四十分の二回に分れ町田、內山、菱刈、渡邊各大將、陸相代理牛島副官以下多數の出迎へを受け樅樹燃ゆる帝都に悲しき死の凱旋をなしたる後夫々原隊に向け出發したが變り果てた勇士の姿に淚を新にした

邦人漁夫殺し 現地調査着手

【東京二十四日發國通】文丸殺人事件眞相調査のためウスカムに向つた野口ハバロフスク領事館書記生から外務省への着電によれば野口氏は二十一日午後九時半ウスカムのゲ・ペ・ウ隊長を訪問、わが太刀風より得たる情報を通告し調査船金鷄丸の沿海航行許可並びに案內人附添方を要求し現地調査に着手した

專賣特許 クロードネオン 大連工場 電話二二三四六番

賊の帆船を追擊し人質十一名を救出

警備船『鎭海』が活躍

【新京電話】二十二日午前十時頃雙臺子河警備の任に當つてゐた海邊警察隊警備船鎭海は河口西南方四哩の河上にて一隻の帆船を發見これを拿捕すべく追擊した處突如該帆船より發砲し抵抗したので鎭海は直にこれに應戰し追擊したが怪船は猛擊に耐へかね河岸に寄り賊團は上陸何れにか逃走した、船中には十一名の人質が放置されてゐたのでこれを救出したが該賊團は十八日大窪附近に於て奉山線を襲擊した賊團であつたこと判明した

人夫拉致 また河北線で

【奉天電話】二十三日午後五時頃河北支線大窪驛南方四キロ附近に賊團が來襲し工事中の人夫八名が拉致された

全滿各線と滿鐵の連絡運轉開始

愈よ七月十五日から

滿鐵對四洮線經由洮昂、齊克、洮索各線および滿鐵對奉山、瀋海兩線、瀋海線經由吉海との旅客および手小荷物連絡運輸は懸案のまゝ解決を見ずただ奉天滿鐵驛に瀋海の旅客列車を入込ませる程度の進展を見てゐただけであつたが、最近滿鐵對鐵路總局との間に協議がまとまりいよいよ來る七月十五日からこれ等各線との連絡運輸を實施することゝなり目下鐵道部、總局兩者の間で運輸規定の作製を急いでゐる、是等旅客手小荷物との連絡運輸開始と共に滿鐵對奉山、瀋海、吉海各線との貨物連絡も開始の筈でこゝに現在本營業を行ひつゝある全滿各鐵道對滿鐵との旅客および貨物の連絡運輸は呼海線を除いては全部行はれることゝなり荷主および一般旅行者の永年の希望は達せられそれ等の受ける利益また甚大である、なほ呼海線の連絡運輸も海克線の本營業開始と共に早速正式規定を取決められることゝなつてゐる

北寧線の不通で避暑客が日本へ

平津在住の外國人

【天津二十四日發國通】日一日と暑くなり愈々本格的な夏に入つて來た例年ならば當地避暑客殊に外人避暑客は既に荷物を纏めて山、水、溫泉を賴つて秦皇島北戴河又は滿洲方面へ出掛けるところであるが今夏は北寧線が途中不通となつてゐるので同地への避暑も困難となり開通を待つてゐては暑さが押し寄せて來るので氣の早いのは既に滿洲に出かけたものもあるが又此機會に一度日本を見物旁々避暑を兼ねてと云ふ客も多く每日日本に向けての汽船には多數外人避暑客が送られてゆくために各船會社では北寧線不通のため思はぬ避暑客を迎へほくほくの態である

列車ホテルに日本式風呂場

【新京電話】新京列車ホテルは簡易と低廉な宿泊料とで一般に好評を博してゐるが夏期となつて風呂場の設備がないので近く日本式風呂場を設置し旅客の便に供することになつた

沿線小學校學級增加 敎員の任命で

滿鐵地方部學務課では本年四月以後の沿線各小學校の入學兒童激增により、更に全線に亘り約十學級(奉天、撫順、鞍山、新京)增加の必要に迫られこれが敎員の補充を內地から行ふことになり各希望者と折衝中であつたが、手續上の問題で豫想外に永引き大體七月十日ごろまで全部の任命を終ることゝなつた

從つて學級の增加は二學期から行ひ配屬もそれまでに決定するが更に學務課では十月までに新京、奉天兩地の滿鐵社宅が完成しそれに伴ふ校舍の增築を急いでゐるため十名の新敎員任命に引きつゞきこれが補充敎員の詮衡に取りかゝる筈である

三將を殘し學生軍快勝

滿鐵柔道遠征軍敗る

【東京二十四日發國通】六年振りに東都遠征の全滿洲軍東京學生柔道聯盟選拔軍對抗柔道大試合は廿三日午後七時から大隈講堂に於て擧行された午後六時五十分兩軍入場式あり高師聯盟理事長の挨拶の後午後七時先鋒山根(滿)與縄(學)の試合で開始された、試合は兩軍各廿六名勝拔一本勝負、大將十五分、副將十分その他七分限度で講道館審判規定に依る(審判七段橋本正次郎、六段二宮宗太郎兩氏)

勝負(勝○負△分け×)

滿洲軍 學生軍

×二段山根 ×三段與縄
○同 大畑(大內刈り返し) △同 石川
△同 同(大外刈り) ○四段高見
×三段大關 × 同
×同 田中 ×同 深澤
×同 田邊 ×同 庄司
×同 小原 ×同 中川
△同 山本(大外刈り) ○同 押田
○同 門脇(背負投げ) △同
○三段門脇(小內刈り) △同 牧野
△ 同(足拂ひ) ○同 高橋
○同 田中(大外刈り) 同
△ 同(跳腰) ○同 佐藤
×四段柳田 × 同
×同 林 ×同 島本
×同 花田 ×同 佐藤(茂)
△同 岡部(背負投げ) ○同 森
×同 大野 × 同
×同 小山 ×同 崎
△五段石崎(吊込み足) ○同 高山
○同 佐々木(崩上四方) △ 同
△ 同(小內刈り) ○同 岡村
×同 伊藤 ×同
×同 星 ×同 中田
△同 三浦(大外刈り) ○同 清水
×同 三間 ×同
×同 伊藤 ×五段奧村
×同 高根澤 ×同 尾崎
×同 石川 ×同 赤山
○同 副將伊勢(足拂ひ) ×同 中島
△ 同(左大外刈り) ○同 加藤
△同 大將吉原(大外刈り) ○同

斯くて學生軍は藤原(五段)有馬(副將五段)山口(大將五段)の三君の不敗勝者を殘して快勝、午後十時十三分無事終了した

支那人ボーイが中學生に化けて

連鎖街カフエー荒し

原籍山東省掖城縣、當時住所不定前科二犯岳宗義(二一)は十四五歲頃より日本人宅のボーイや大連某警察署の給仕等をしてゐた關係上日本語には巧であるし、警察の事情には通じてゐるので、露店市場で中學生の制服一そろひを買ひ求め、一かどの日本人中學生になりすまし、父は警察のものだぞと連鎖街のカフエーを軒なみに酒や食事等を強要して歩き、金に窮するとユニオン、ルナ、京極等大カフエーの女給部屋のみを狙つて窃盜を働いてゐたが、二十三日夜例の如く連鎖街で一稼ぎして平和街七七の某質店に立ち寄つた所を小崗子署員に逮捕された、岳が自白するところによれば連鎖街のカフエーのみで約五百圓以上の窃盜を働いて居り、その他海務協會外數軒にも忍び込んでゐると

夫婦生活SOS

結婚後一度はキツト襲はれる倦怠期はどう豫防し突破するか？夫婦生活の危機を逃れる爲に誰方もゼヒ見よ、婦人俱樂部七月號に發表

痘瘡續出 赤痢も發生

終熄してゐた天然痘と、暑さのため赤痢が流行し始め防疫陣を脅してゐる——市內信濃町三好醫院の醫務助手藍村春山(二〇)は二十二日發病、假痘と診斷され療病院に隔離されたが續いて乃木町九特產商中村長二郞(五三)及び西公園町一番地王仁其(二八)が發病、何れも痘瘡と判明し大連署衛生係で大消毒に努めてゐる

また明治町一番地宮田三郞長男昇(七)は二十四日赤痢と判明療病院に收容したが外に二、三疑似患者發生目下檢鏡中である

酒の密造發覺

大連市聖德街二丁目一一四洋酒商木村寅之助(四〇)はその筋より酒類製造の免許を受けず去る四月中旬よりこの十三日までの間犯意を繼續し前後四回に亘りウヰスキー六斗五升、ブランデー二升、葡萄酒二斗を密造した事が野秘務吏に發見され現品押收の上告發され二十三日民政署より罰金百圓に處せられた

臨時競馬 第二日午前

臨時競馬第二日は朝來の快晴に惠まれて入場者相當多く、午前十時三十分第一レース發馬當時より場內は活氣に充ちてゐた、馬場好調午前中の成績左の如し

▲第一競馬(並通新古呼三頭)千八百米、第一着(武豊島矢保利騎手)二分一九秒四、第二着別嬪四馬身、第三着黑龍四馬身、配當單式四圓九十錢

▲第二競馬(春抽六頭)二千米、第一着東天(堤騎手)二分五〇秒、第二着天空半馬身、第三着呼倫八馬身、配當單式七圓三十錢、複式一着馬五圓八十錢、二着十一圓

▲第三競馬(各抽八頭)千六百米第一着赤玉(川合騎手)二分一〇秒一、第二着那須野二馬身、第三着一白鼻、配當單式六圓二十錢、複式一着馬五圓三十錢、二着馬七圓六十錢、三着馬八圓

岩橋氏講演會

市內各基督敎會聯合主催で、七月一日より四日間敷島町青年會館に於て盲人哲學者として聲名ある關西學院敎授岩橋武夫氏を聘し特別講演會を開催することに決定、岩橋氏は月末來連の由である

同氏は早稻田大學理工科在學中失明、煩悶の結果基督敎に歸依し、關西學院に入學、卒業後渡英エヂンバラ、牛津兩大學で宗敎哲學を研究、昭和四年歸朝後母校の敎授として今日に及んでゐるのである、四日共通聽講料三十錢の由

天氣予報 二十五日

南西の風 晴時々曇

滿潮(午前十一時四十五分 午後十一時五十五分)

干潮(午前四時五〇分 午後六時三〇分)

各地溫度(二十四日午前十一時)

地名	溫度	地名	溫度
大連	二六	奉天	二七
旅順	二七	新京	二六
營口	二八	新義州	二一

けふの小洋相場(十時) 金百圓は一三三圓五錢

故竹田氏葬儀

故竹田菅雄氏の葬儀は二十五日午後一時から市內天神町明照寺に於て執行される筈

日蓄社員獻金

非常時に際して擧國一致盛んに國防獻金が行はれてゐるに際し外國會社のトツプを切つて日本コロムビア蓄音器會社は從業員全部擧つて月俸を割いて金三千六百圓を集めこれを陸海軍兩省に獻金し時節柄注目を惹いた

母の日に寄贈

大連市役所、滿鐵地方部、滿洲社會事業協會、全滿婦人團體聯合會共同主催の「母の會」は既報の通り二十五日午後一時より滿鐵協和會館に於て開催されるが當日は鈴木商店より味の素十二百個、連鎖街小泉商店より花王洗粉の各來會者に寄贈がある

大商滿博進出

大連商業學校では今夏開催の滿洲博覽會に大連商業學校實習賣店と銘打つて進出し生徒の夏期實習をなすが販賣品種は靜岡銘茶、海產物、家庭用品等にして學校生徒の實習を博覽會に於て行ふことは內地に於ても未だ例を見ざる處で各方面よりその成功を期待せられ居る

傷病兵慰問金

修養團大連聯盟及び大連白百合會では傷病兵慰問のため六月二十四日より同二十八日迄第十二回の獻金募集を行ふことになり市內主要街頭で市民各位の熱誠なる同情を仰ぐと

因みに六月二十日までの募集額は總額四千七百三十五圓四十三錢に上り慰問人員は三千八百七十六名で殘金は二百三十四圓七十八錢である

人絹密輸檢擧

二十四日早朝第十六共同丸出帆間際のごたごたさまぎれに大きな包みを抱へた怪し氣な一支那人が素早く船に乘り込まんとするのを水上署司法係巡捕が發見し本署に連行取調べると同人所持の包みから人絹四梱價格約八十圓が飛出した右は山東省登州府生れ當時市內奧町中華棧投宿揭顯魁(二四)といひ密輸被疑者として當地水上署に前後四回取調べを受けてゐる密輸の常習者である

食客が盗む

市內兒玉町八滿鐵地方部長中西敏憲氏方で最近貴金屬、衣類等が盜難にかゝり不審がられてゐた矢先同家の食客福井縣生れ種谷昌三(二〇)のトランクから質札十餘枚現れたので二十三日夜夫人が種谷を詰問中、突如裏口から逃走した

種谷はベロケのダンサー某と親しくなり金に詰つて盜みを働いたものらしいが中西氏方を逃げ出した夜、ダンサーと星ケ浦にランデーブしてゐたのを發見したものかあり目下大連署で搜查中

梶田小兒科醫院 越後町若狹町角(電六七五〇)

父從五位竹田菅雄儀昨二十三日午後四時四十分急死致候間此段生前辱知諸彥ニ謹告候也
追而葬儀ハ明二十五日途中行列ヲ廢シ午後一時於天神町明照寺執行致シ候尙午勝手供花放鳥ノ儀堅ク御辭退申上候
六月二十四日 大連市外老虎灘
男 節生
親戚總代 國本小太郎 吉田親數
長古三郎 古財治八
友人總代 岡內半藏 五泉賢三
五十村貞俊

荊妻良惠儀昨夜無事男子を分娩せしも產後の經過惡しく今朝五時死去致候に付此段御通知申上候
追て葬儀は途中行列を廢し明二十五日午後四時半市內若草山西本願寺に於て相營申可候
六月二十四日 回春街八九
夫 佐久間寛
親戚總代 長澤圭五
西內政次郎
友人總代 本多兵一
宮崎與八
日本女子大學校 櫻楓會大連支部

善鬼惡鬼（116）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

小梅の寮（四）

徳川御三家縁者としての隱居の威光は、夜明けと共に、いちじるしく光つた。お瀧の身の上に何の咎めもないと同時に、傳法傳右衛門までが、乗り物に人目を憚つて

「瀧、そちの伯父のうちへは、用人がまゐつて、一切を揃いてゐる安心するがよいぞ」

「ありがたうございます」

「折角の身代だが、大分むさくるしい長家ばかりだと申すことだ。それは、私にゆづらぬか、金に代へて其方に下げ渡すがどうぢや」

「はい、伯父はあれだけのものでも、長年辛苦に辛苦をかさねて、手に入れたとやら申します。伯父が存生でございましたら、きつと否やを申すか知れませぬが」

「ではあの儘にして、大事にしておくか」

「ほゝゝ、いゝえ殿様、私は伯父とはちがひます」

「ではどうする」

「殿様の遊ばす事なら」

「私のする事なら」

「何もかも、お心任せでございます」

「はゝゝ、こいつめ、可愛い事を申す奴ぢや」

「殿様」

隱居はすつかり上機嫌だつた。

お瀧が、彦八郎の上機嫌へ、しつかり食ひ込んでゆく。

「何ぢや」

「あの、傳右衛門めは」

「うむ、すつかり忘れて居つた。たしか參つたとか申す事だが」

「お疑ひ申し上げるではございませんが――」

「逢はせろといふのか」

「はい」

「よし〳〵、今呼んでつかはす」

隱居は手を叩いて、いひつけはしたものゝ、少し氣がゝりだつた。

「瀧」

「はい、私は、傳右衛門などちらと見たが、あいつ、たしかに赤の他人かな」

「もし、他人でなかつたら、どう遊ばします」

「どうしようといふのではないが――少し男ぶりがよいので、氣がかりだの」

「ほゝゝ、あんなぞべら〳〵としたいやな男、私は大きらひでございます」

「口でけなして、何とかと申す事があるの」

「殿様、折角、呼びよせて頂きましたが、傳右衛門めは、どこへなりと追ひやつて下さいまし」

「あ、これ〳〵、そんな意地のわるい事をいふものではない。今呼んでつかはすといふに」

「いゝえ、もう逢はないでもよろしうございます」

「こいつ、氣むづかしい奴ぢや。かうなつたからは、呼ぶなと申しても、是非とも呼んでやるわ」

隱居は手をはた〳〵と叩いた。

間もなく、傳法傳右衛門が、たつた一夜の中に、やつれ果てた姿で、おづ〳〵と引かれて來た。

「傳右衛門とやら、お瀧の口添へがなかつたら其方は、今頃、大牢へでもまはされたか知れぬぞ。よく禮をいふがよい」

隱居がむづかしい顔をして云つた。

傳右衛門は平蜘蛛のやうになつてゐたが、お瀧と聞いて、そつと顔をあげる。

其時お瀧が

「御殿さま、お願ひでございます。傳右衛門にちき〳〵申しつけたい事もありますので、私の居間へ連れてまゐります」

「何の話か知らぬが、ここで話したらよいではないか」

「話しさへ出來ませぬくらゐなら傳右衛門め、この儘、いづれへなりと！」

「あゝ、これ〳〵、又そんな意地わるを申す。――よいわ、連れてゆけ〳〵」

「ほゝゝ、本當にお情深いお殿さま」

「はゝゝ、おだてるな〳〵」

松翁は苦わらひをして、恨めしさうに、お瀧と傳右衛門を見てゐる。

入江たか子の傑作『瀧の白糸』

藝術の香りと大衆味横溢の　溝口監督會心の作品

入江プロの超特作品で新興キネマ提供の入江たか子主演岡田時彦助演の十四卷、これこそは待望十年のテキストを得て溝口監督がその情緒主義的技巧の一切を傾注し盡した名篇である、カメラは定評のある三木茂技師で北陸、信濃、佐渡の各地に亘りロケーションしてゐる

物語は泉鏡花の原作で、北陸一帶を巡業する見世物師の瀧の白糸といふ水藝の女太夫が生一本な戀を貫いて舌をかみ切つて戀人の前で死んだ數奇な一生を描いたもので背景は明治である

この「明治」の空氣に生きる女「明治」の空氣を呼吸する所謂「鏡花調」の女を見事にスクリーンに再生して日本映畫近來の傑作をつくり上げてゐた溝口監督は主演者入江たか子を始め、「明治」の時代に拉致して細心な用意の下に裝證された「明治調」乃至「鏡花調」の雰圍氣の中に瀧の白糸を生かして切つてゐる、物語を現代化せず何處までも「明治調」で押切つてスクリーンに「明治」を再生したここは素晴らしい成功である

三木茂の優れたカメラと場面の落度ない構成に助けられた溝口監督の演出と、俳優指導は驚嘆に値する上々の出來榮を示してゐる

見世物小屋の構成、金澤の淺野川のほとりのわびしさ、流れ〳〵て御難に遭ひトヤについて小屋もの、戀を扱ひ東京にある戀人に送る金の苦面等限りなく優れた場面を見せてゐるが、特に入江たか子の演技が光つてゐるのは瀧の白糸が殺人罪を犯して東京に出て戀人村越の書生部屋を訪れる場面である、この邊から完全に瀧の白糸の心理描寫をつかんだ溝口監督はラストの檢事代理に出世した戀人に再會する場面に至つて申分なく觀客の心にまで喰ひ入つてゐる

助演者は戀人の岡田時彦をはじめ菅井一郎、浦邊粂子、見明月太郎、村田宏壽等が歩調を合はせて良きバイプレを見せてゐることも全篇の諧調を更に高めてゐる

この一篇は「明治調」乃至「鏡花調」を描いて藝術的良さを示してゐると共に、大衆ファンの心に喰ひ込む悲戀に生きて死んだ女を扱つた涙を絞る作品としても大衆的に大きな成功を誇る傑作である（寫眞は入江の瀧の白糸）

國寶映畫『此一戰』

實寫日本海の戰を錄音して・東郷元帥が特に出場

來る二十六日から入江プロの傑作品「瀧の白糸」を上映する映樂館では同時に東京朝日新聞製作、海軍省後援、柴田海軍中佐指導鈴木重吉監督トーキー作品「此一戰」三卷を併映する

映畫「此一戰」は題名の示す如く日露戰爭の日本海々戰の「世界を震駭せしめた三十時間」のスリルを中心にバルチック艦隊の出發に始り凄愴な日本海の激戰、次いで華やかな海軍勇士の凱旋の實況より現時の我海軍の威力を國民の眼前に示したものである

この壯烈な記錄映畫は「三月十日」で軍事映畫にその冴えた腕を見せた鈴木重吉監督が海軍省秘藏の門外不出の日露戰爭當時よりの國寶的原畫と數臺の飛行機を驅使して撮影したものを編輯しトーキー効果によつて日本海の戰況を手にとる如く砲聲轟々たるうちにスクリーンに再生した名畫である

更に特筆さるべきことは今日まで絶對に映畫撮影を謝絶し來つた東郷元帥が快くカメラの前に立つて、その慈父の如き言葉を錄音し得たことで、東郷元帥の出場によつてこの一篇は國寶的名畫たる價値を一層確保してゐる

愈よ今明日限り

中央映畫館の『叫ぶアジア』

本社後援で去る十九日から中央映畫館にて松竹蒲田特作品「非常線の女」と併映し名番組を以て全市映畫ファンの人氣を集中し連日大入滿員の盛況を續けてゐる藤原義江主演トーキー「叫ぶアジア」の市中一般公開は好評裡にいよ〳〵今明日限りとなつたからこの機を逸せず刷込の割引券を利用して觀賞されたい

『叫ぶアジア』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上七十錢階下五十錢
後援　滿洲日報社

『叫ぶアジア』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上七十錢階下五十錢
後援　滿洲日報社

社說

母の會と家庭常識

毎年の嘉例たる母の會に就いては益々一般に興味を感じて來たが、植民地子弟の教養から見て、殊にこの種の會合は有意義である。近來の家庭が動もすれば家族主義の精神を缺き、子女の取扱ひを餘りにも物質的に、形式的に放任し易いのは、眞に國民教育を思ふ者の遺憾とする所だ。それは必ずしも親として愛情に乏しい爲でないが、近代生活、就中新開地都市に於ける營生法は、親權者をして一律に子女の教育を學校當事者に一任し、最も必要な個性涵養を輕視せしめて居る。集團を主とする學校教育には勿論長所がある。併し同時に各人各家の傳統や、個人的特長に就いての抽出助成には十分行屆き兼ねる。これは近時著しく進歩した保健衞生の方面にも同樣だが、其處に子女と家庭教育とのデリケートな關係があつて、これが責任の大部は母の双肩に置かれて居る。

◇

母の會はこの子女に對する家庭常識を研究し、同じ立場から互に各人の意見や經驗を啓發し合ふ美擧である。且つ夫れ近代の社交は人と人との往來が主で、家庭と家庭との接觸に缺けて居る。否な縱し各家庭間の交際はあつても、その多くは家長の趣味や業種が中核となつて、子女への母性愛を媒介としての社會的情味がない。母の會は母としての人間共通の交感機能だ。そこに階級もなく、種族生業の差別もない。子女に對する母性愛は何事に應用しても、直ちに人情美を發揮する人生の最高感情である。さうした會合の盛んになることは、啻に子女の親權者としてのみでなく、それを擴充して社會と社會、國家と國家との間に、藹然たる平和と正義感とを培養し得るといへやう。

非武裝の愛護を望む

日支停戰協定によつて設置された北支那の非武裝地の將來は頗る注目に値ひする。元來支那が國家として有力な發達を遂げ能はざるは、種々の原因に由るのであるが、其の主要な一因は軍閥の存在である。而して支那國民の唯一の惱みは軍閥の存在である。若し支那から軍閥を取り去るならば其の國家としての發達、民族としての發達は怖ろしい程のものたるに相違ない。故に心ある經世家はすべて軍閥打破を論ぜざるはないが、實際には到底出來ないものと悲觀されてゐた。然るに今回、端なくも此の一地域に軍閥の據るを許されざる狀態を出現した。經世家は此の點に最も着眼すべきである。

◇

軍閥が此の地域に據らぬとすれば、民政に最も力を竭す事が出來る。從來は軍閥が政治を行つた爲めに民政らしき民政は行はれなかつた。随つて地方の自治は割合に發達したのであるが自治と軍政と常に衝突して自治の力を伸ばす事が出來ない。之れが支那の國家としての發達を妨げたのであるが、軍閥の驅逐なくんば、從來基礎のある自治は大に發達する事が出來る。而して官憲は從來とは反對に自然に此の自治を助長する事になる。而して郷村里閭の間に止まつた自治が縣自治となり、更に此の地域全體を聯ぬる自治體にまでも發達せしめ得る。

◇

北支政權は、思ふに、多忙でもあり、内部の不安定もありて、有樣な理想に心を傾ける事が出來ながらうとは察するけれども斯くの如き好機會を徒らに空過するのは甚だ惜い。此處に一個の模範政治を作る事に努力する事が出來ないものか。此の地に素性の知れぬ雜軍が出沒する樣な事になりて協定の破壞にでもなれば恐らく北支全體の破壞にもなる。吾人が北支當局に望む所は、積極的に之れを模範政治區とする工作を始めないまでも其の非武裝といふ事實だけは是非とも愛護せん事である。蓋し非武裝といふ事實が永續すれば其の中には自治が自然に發達する可能性がある。

滿洲國の太平洋會議參加阻止の陰謀排擊

我軍部その不法を指摘

【東京特電廿四日發】第五回太平洋會議は來る八月十四日より同月廿日までカナダのバンクーバーにおいて開催に決定、日、英、米、露支、カナダ、濠洲、ニュージーランド、フイリッピン等の各代表が出席する筈であるが新興滿洲國に於ても當然同會議に參加する權利を有するものとなし、前駐日代表鮑觀澄氏を右代表者に推してゐる、然るに最近陸軍當局に達した情報によれば米、カナダ、英、支各國は滿洲國の參加を阻止せんとし密かに畫策して居るとのことでこれに對し軍部は極度に憤激し左の如き根據を以てこの陰謀の排擊に努力を拂はんとしてゐる、即ち

一、滿洲國の獨立は日本が國際聯盟脱退を敢てしてその獨立承認を主張したもので、滿洲國の獨立が東洋、延いて太平洋諸國の平和を確立する礎石たるべきを確信したるによるものである、從つて既に事實上獨立せる滿洲國を除外して太平洋會議の存立目的はないものと信ずる

一、滿洲國の承認が未だ列國に容れられざることは遺憾であるが曩にハワイにおける太平洋會議で常設せられた太平洋問題調査會の主要目的は「國際關係上の難問題を除去せんがため、その活動を實際的たらしめ建設的たらしめんことを期す」と明示してゐる、滿洲國が未だ列國から承認されず國際間の難問題となつてゐることは何れの政府とも關係なき同會議に參加を拒否し得べき理由なきのみならず、却つて益々その參加の必要を認むべきものである

一、滿洲問題は一九一九年京都における第三回太平洋會議の席上、徐支那代表と我松岡洋右氏との間に猛烈なる論戰が行はれ支那の外交關係は主要なる論題であつた、また一昨年滿洲事變勃發後、上海に開催された第四回太平洋會議は滿洲問題の論議から無期延期となつてゐる、今回の會議に於て滿洲國を參加せしめずして滿洲問題を論議することは全く不可能である

一、滿洲國は長い傳統及び獨自の文化、政治的、經濟的存在を包含する外、人口三千萬を有してゐる、太平洋會議の參加國であるフイリッピンは人口一千二百萬、カナダは一千萬、濠洲は六百萬にして然かも獨立國ではない、然るに純然たる獨立國である滿洲國を參加せしめざる理由は毫もない

一、國際聯盟が日本の脱退によつて歐洲の聯盟化した今日、太平洋並びに東洋を重心とする國際機關に滿洲國を加入せしめることは先決問題である

安東、營口の旅券査證實施につき大連、安東等における實情巡視並に關係各方面へ挨拶のため來連、同部駐官大連辦事處勤務系賀篤氏帶同二十四日本社に來訪した

最近の熱河 全く平靜

【奉天電話】二十九日奉山線で承德に歸任した熱河省税務監督駐小池總務科長は語る

朝陽、凌源、平泉の各地に税捐局を開設し、豐平にも亦局を設け大體の準備を整へた、冷口、古北口の關門における税關も既に人員は配置され熱河省の税務機關は斯くして暫行的に完備して行く、地方の治安も逐次維持され今後多倫方面も各縣の税局を復活すれば殆ど平常に復するのである、住むには多少不便だが活動するには興味のあるところで家族を連れて行くほど平靜になつた

八ッ當り相 球場とグローヴ S・T・生

◇去る實滿野球定期戰第二日に於ける滿倶永澤主將の不時の傷に對してはあの場合所謂不規則なバウンドに起因したもので僕は心から同情をする者である

◇又スパイクの附いた靴で踏まれたとすれば、折角慣れたグロー……

◇我野球界の大先輩の一人である……

馬來聯邦も關税引上

駐英松平大使わが訓令に基き英國政府に嚴重抗議

【東京二十四日發國通】二十四日松平大使より外務省に到着せる公電によれば馬來聯邦の對日的關税引上げ問題に關し松平大使は二十二日英外相サイモン氏と會見、我政府の訓令に基き嚴重抗議を提出英政府の愼重なる反省を要求したるに對し、サイモン外相は「馬來聯邦の關税改正實施については英帝國憲法上の問題も存するから追つて關係當局をして調査せしめた上然るべく回答する」旨を答へ他日の回答を約するところあつた

專斷的關税引上は條約に違反す

わが政府の抗議理由

【東京二十四日發國通】馬來聯邦の對日關税引上げに關し外務省は別項の如く松平大使をして英政府に抗議せしめたが、馬來聯邦は英本國の保護領にして外交自主權を有せざるのみならず、明治四十四年日英通商航海條約に加入してゐる以上同條約による對日最惠國待遇の拘束を受くべきもので、今回の如き專斷的關税引上げは條約違反を意味するのみならず、英政府が經濟會議における關税休日決議案成立後において右關税引上げを認容するは右決議に對する違反行爲となるので、當局は英政府がわが要求を容れざるにおいては更に重大抗議を提起すると共に、之を經濟會議の問題となすべく英政府の正式回答を注目して待つこととなつた

日本の斡旋により北鐵讓渡に努力

入京せる蘇聯代表語る

【東京二十四日發國通】今朝入京した北鐵讓渡交渉の蘇聯側代表、外務人民委員會極東部長カズロフスキー北鐵副理事長クズネツオフ兩氏は車中左の如く語る

交渉に對する腹案はユレニエフ大使と打合せの上決定する日本の好意的斡旋により北滿鐵路の權益を完全に滿洲國へ讓渡のため最大の努力を拂ふ積りである丁士源公使とも知つてゐるから話は纏ると思ふが、賣買値段で相當歩みよりの交渉も起るだらう、交渉はどの位續くか判らぬが、日蘇不可侵の見地より見ても交渉を成功させねばなるまい

兩氏は直に麻布のロシア大使館に入りユレニエフ大使と打合せを開始した

北鐵ソ聯代表 兩氏けさ入京

【東京二十四日發國通】北鐵買收交渉のソヴエート代表外務人民委員會極東部長コズロフスキー、北鐵副理事長クヅネツオフ兩氏は二十四日午前七時十五分東京驛着國際列車で敦賀より入京した、驛頭には外務省宮川書記官、ソ聯大使館スピルバー參事官、關根日露協會主事及びソヴエートの音樂行脚で大歡迎を受けた山田耕作氏夫妻ら十數名出迎へた

旅券査證事務視察

外交部通商司長呂宜文氏は滿洲國

日印外交文書は英國で作成交渉

三宅總領事の公電

【東京二十四日發國通】シムラ日印通商交渉における印度代表に英政府は外交交渉權を附與せるや否やに關し、二十二日在シムラ三宅總領事より外務省へ

印度側では日印兩國代表間に實質的取極めをなしロンドンで右を正式外交文書となしたき旨公電到着したので、外務省はわが政府代表にも外交交渉權附與の要なしとみてゐる、從つてシムラ會議終了後ロンドン松平大使と英當局とが外交文書を作成、交渉を行ふ事となつた

敦圖線を觀る

(五)——特派員 五百旗頭佐一

沿線の人口激增

哈爾巴嶺を過ぎると汽車が下り勾配を走ることは前にも述べたが、この嶺を越えると所謂間島の地となるのである、そして旅行者の眼に早速感じて來ることは、白衣の同胞が急にその數を增して來ることであり、沿線住民の七割乃至八割がこの同胞によつて占められてゐる、勿論滿洲事變以前にあつては舊東北政權の苛政に追ひまくられて不遇な生活に甘んじてゐたが、事變後更に鐵道建設後彼等の數はます〳〵增加し、近き將來間島全部が鮮人同胞によつて占められんとする形勢にある、從つて彼等にいはすれば間島は朝鮮半島の延長であり、また一般人もしかく解することが最も妥當であると考へてゐるのであらう、列車の警乘兵も哈爾巴嶺を境にして所屬部隊が變化しその他あらゆる點に此感じを裏書する實證を示してゐる

◇

列車が圖們に近づくに從ひ山はます〳〵車窓に迫り縦根の嶮を通過した旅行者が縦嶮した河からトンネルへトンネルから河への旅をこゝで經驗することが出來るのである、山の緑も極めて深い、本年四月二十日歷史的開通式を擧げた蒸子溝の驛を過ぎて二十數分午後七時十分無事圖們に到着した、即ち一九三キロを走るのに要した時間正に十三時間、一時間平均十五キロ弱の漫々的旅行ではあつたが記者にとつてはそれが豫期以上であつただけに極めて愉快な旅をつゞけることが出來たのである、記者はこの敦圖線が時速六〇キロ平均のスピードで走行する時が來た時こそこの沿線の治安も完全に回復し滿洲第一の遊覽鐵道として、旅行者、狩獵家達のあこがれの的となることを斷言出來るが、現在では線路に盛土されたまゝでバラスの無い部分もあり、沿線約七分の一の濕地帶の地盤が固まるまでにはなほ今後相當の日數を要することと想像せねばならず、その日の來るのは大體五年後と見るのが至當であらう、唯このノロい旅行に耐へ得る人にはかつて建設工事華やかなりしころの滿洲とは人情、風俗……

豆信定時總會

配當年八分八厘

大連取引所信託會社の第四十回定時總會は二十四日午後三時より取引所樓上會議室において開催、當期の株主配當年八分八厘を可決、取締役曲子源氏の任期滿了による改選の件は留任に決定した、利益金處分案を示せば左の如し(單位圓)

項目	金額
當期益金	二二七、七〇八・六七
前期繰越金	三七、二四三・二七
合計	二六四、九五一・九四
内	
法定積立金	一一、五〇〇・〇〇
使用人退職手當基金	一〇、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	一七、〇〇〇・〇〇
株主配當金	一八一、五〇〇・〇〇
後期繰越金	四四、九五一・九四

一株に付舊株二圓二十錢、新株五十五錢、即ち年八分八厘の割

初等教育研究會總會

第二十三回關東州初等教育研究會第二部總會は二十四日午前……

板垣少將送別挨拶宴

板垣少將送別話會

大連丸乘組員慰勞

關東州居住者の查證料免除

奉天憲兵隊の分隊長會議

皇軍將士慰問

觀

特産 市況(廿四日)

錢鈔

市場電報

人事

うすりい丸

家庭

母を思ふ　けふは母の日

姿なき母を想ふ

大連彌生高女第四學年　日高千代子

「子供の爲にもう一年でも生きて居てくれたら……」と言ひつゝ父は靜かにお母樣の顏を隱された。「きよ子、靜かに眠りなさい、お前は短い命をもらつて來たものだなあ」と父は力強く言つてゐたものゝその言葉は淚で曇つて居た。

父の一言は又あらたな悲しみとなつて私の心の中に浸み込んで來た、私は堪へかねて、わつと泣き伏した。思へば昨日まで一緒に樂しく過ごしてゐたのに……お母さま、私は、私は……すゝり上げる度に、肩が細かに動いた。

「泣いたつて、歸るのじやない。子供が泣くと、親は安心して、極樂に行けぬと云ふこともあるのだからな、それにしても……」と、父は私の顏を覗き込む樣にして言つた。父の聲は本當に力がなかつた。「泣いたつて〳〵歸つて來て下さるのじやない、泣かないで」と奧齒を嚙み締めてゐたものゝ、絕え間なく熱いものが頰を傳はつた。表は薄暗くなつて居た。

……◇……

だら〳〵坂を登りつめたところに、火葬場の建物が陰氣な空に淋しく立つてゐた。

×　×　×

白い〳〵煙が空の中へ〳〵と消えて行く。細長い煙突の下に立つて、消えて行くお母樣の魂を凝と見詰めてゐた。ふと下を見ると其處には澤山の御墓が並んでゐる。

あの土の中にも、お母さまと同じやうに短い命をもらつた人が……と、色々の事を思ふと、又悲しい感情が胸一ぱいになつて來るのだつた。

私を可愛がつて下さつたお母樣、よく我儘を通さして下さつたお母さま、

ポトリ〳〵……ポトリ……と、熱いものがとめどもなく流れて來る。かすんだ眼に、健かに微笑んでゐらした母のお顏、

又さみしさうな其のお顏、私を力づけて下さつたお顏、が霞を通して見えるお月樣の樣に私の眼の前を行き來した。

私はその中からはつきりとしたお母さまの顏を見出す事が出來なかつた。

お母さまは、今時分どんな氣持でゐられるのかしら……

私の樣にやつぱり淋しいのかしら……

私は淸められた土の中で眠つてゐられる母の顏や、其の姿を想像すると、もう、自分の體も一緒に母の側に居る樣にもかんじた。

又段々と遠ざかつて母の姿が見えなくなつて來る樣にも感じられた。

「お母さま、お母さま」

私は、もう一度、あのやさしい聲がお聞きしたい。

お母さまと、お話したいの、お話したいの……この言葉が胸の中に、長く〳〵續いた。

……◇……

骨納めの日だつた。

お寺から、さみしい氣持で出て來た時、門前で四人連の親子を見た。

七つ位の子と、私位の子とを中にはさんで、樂しさうに私達の前を橫切つて行かれた。

私はその一行に心を奪はれて立止つたまゝその人達を見送つた。

立ち止つてゐる私の姿を見た父は「諦められないのは、無理もない、さあ歸らう」と、呟く樣に私の顏を見られた。

×　×　×

御佛壇には、小さい蠟燭が淡い光を放つて居た。

「お母さまもこんな所に來てしまつたのね」と、私はかう云つて、お線香に火をつけた。さうして、默禱した。

靜かだつた。靜かだつた。

私の心には、餘りにも靜か過ぎた。

私は座を立つて、一人室の中に入つた。

お母さま、泣かすにれんれ、致しませう。

あしたの朝は濱に出て、歸るお船を待ちませう、と私は小さい時に習つた、この歌を歌つて、お母さまをまぼろしの中に見てゐた。淚が出てその聲も半ばで盡きてしまつた。

私は、後ろに人の氣配を感じた振返つて見ると、內地の學校から歸つて來てゐる兄が、あんなに氣の丈夫な兄が眼に淚を殘して居るのを見た。

私は暫くの間、淚が出て來てならなかつた。

兄は窓の方を向いたきり、動かないやうだつた。

×　×　×

沈默の中に、皆食事をとつてゐた。

嚙み締めた御飯がまるで綿でも食べてゐる樣に味がなくなつて行く。

……

お母さまさへいらつしやつたら

私は、淋しかつた、やたらに悲しかつた。

父の顏を見ると、父の鬢には、白髮が目立つてゐる。

お父さまも淋しいのだ。

お父さまは、私達以上にその惱みは大きいのだ。

私は父に心配をかけまいと、一生懸命淚を抑へたのだつたが、それは駄目だつた。

「御馳走さま」と、私は箸を置いたまゝ自分の室で泣きくづれた。

×　×　×

「皆さみしいだらうが、あまり泣いてばかりゐてはいけない、お母さまもさぞ地下で心配してゐられることだらう、此の上お母さまに心配をかけない樣に……お母さまは直接ではないが、いつもお前達の側についてゐられるのだから……」と、父の聲には力があつた。父の一言々々が身に沁み込んで行く樣に感じた。

私はそれからむやみに泣かなかつた。お母さまが地下で私達のすることを見てゐて下さるやうに思ふと、何となく力強いやうに感じて來るのであつた。

×　×　×

私の悲しみはあまりにも大きかつた樣だ、本當に考へて見れば、この悲しみはお母さまを亡くした人でなければ想像することが出來ない。

「母！」母の力はどんなに大であつたか？

何處の家でも父は餘りに家にゐないためか、大抵の人は父よりも母の方を慕つてゐる樣だ。私もその一人だつた。

母のゐない家庭は燈のない家と同じであると、昔の人は言つて居る。

今まで母性愛によつて何不自由なく暮してゐたのが、母を失つてから、心の一變するのは止むを得ない。母性愛と父性愛とによつて生きてゐる人が一番幸福である。私は今父性愛一つによつて幸福にくらしてゐるがやつぱり母が戀しくてしかたがない。

議論では勝てぬ

第二中學校第四年生　武部太郎

母と僕とはよく衝突する。時には、母が無理な場合がないでもないが、大抵は僕の方に非がある。だから議論ではとても勝てない。そこで最後の手段として、ぶんと席を立つて自分の部屋に引込んでしまふ。靜かな部屋に一人ゐると次第に自分の惡かつた事が分つて來る。しかし、さうかといつて母と妥協するのは何だか恥しい。それで、後で母と顏をあはす時があつても、不相變ぶんとした顏付をしてゐる。しかし母は、母はさつきの事はすつかり忘れた樣な態度でにこやかに話かける。此の時、僕は寛大な母の愛を心一ぱいに感じて、胸の蟠まりも何もその中に溶けてしまふ樣な氣がするのである。

母の愛は全く寛く大きい。しかし我々は常に其の中に生活してゐる爲、母の愛といふものを、さほど強く意識しない。我々が、それなくしては一日も生活の出來ぬ水や御飯の味を忘れてゐるのと同じ事である。もし我々が長い旅に出たり、母が病氣になつたりしたなら、我々はどんなに母の愛を思ひ、母の有難さを感ずることだらう。

母の愛には理窟がない。將來、我々がどんなに失意の境遇にあつても、或は全人類から憎まれ、さげすまれたとしても、疲れ傷いた我々の魂を、その溫かい腕で抱いて呉れるものは必ず母であると僕は信ずる。

母の愛は盲目的であると誰かゞ言ふ。時にはさう思はれる事もある。しかし、僕はその爲にいよ〳〵母を尊く有難く感ずる。僕の母は、ほんの一寸したことでも危がつて、僕に欲するまゝの行動をさらせないことがよくある。かういふ時にはたゞ無性に腹が立つ、しかし落着いてよく考へて見るとそこにも大きな母の愛を感ぜずにはゐられないのである。

以上いろ〳〵考へて見ると、母の愛は全く淸く偉大である。それにつけても僕は「孝行のしたい時には親はなし」の悔を將來殘さぬ樣、努めたいと思ふのである。

暗い室に一人行けぬ　恐がりの子供

どうすれば矯正出來るものか

恐しい ことを知らぬ子供がだん〳〵生長するにつれて何時の間にか恐いものを覺えて何でもないものを恐れるやうになります、相當生長してゐる兒童でさへ夜は大勢から離れてはお隣の部屋に行くのさへ非常に恐がる子供があります、でこんな兒童は如何な方法をとつたら矯正できませう？

黑白も 判らぬ生れたばかりの赤ん坊もその環境によつて飴の樣にどんなにでも育てられます、神經質な母親の素質を受けて神經質に生れつき臆病な子供もありますが、臆病なる子供の大部分は生後母親の脅かしといふ便宜な戰術によつて育て上げられた子供が多いやうです、思ふ樣に言ひつけを聞かないとか、腕白で困る時は最もよく利く脅かしを使ひます勿論效果はあります、ありすぎて相當の歲をとつてゐるのに習慣づけられた臆病さが除かれないで却て今度はその

矯正法 に困惑するといつた狀態です、場合によつては脅かしも必要かも知れませんが、いつまでも〳〵臆病であつては兒童を消極的にしてしまひ、進取的氣象が失くなり、長い生涯の中にはどれほど直接目に見えぬ大きい損害を蒙るか判りません、母親の一時の便宜のために脅かしを使つて戴きたくないのです臆病な子どもに限つて獵奇的な話を聞きたがり又そのやうな本を讀み、次から次に色々聯想を逞しうして

恐怖心 を培ひます、保護者の方で讀物に注意を拂つてできる限り怪談のやうな物凄い感じをいだかせる樣な本から遠ざけさせ、その代りのものを與へて興味を他にそらせることです、こわがつて暗い部屋や其他の所に一人で行けない子供は訓練によつて或る程度までは矯正できます、先づ心を鍛錬する事が最も大切です、暗がりを恐れる子でしたら親自ら行つて電燈をつけ恐いものゝないことを知らせて電燈を消し、用をたすと云つた樣に、相當の年齡の兒童でしたら柔道、擊劍といつた種類のものを習はせたら落付いて來ると思ひます

宗教心 を培ひ信仰を持たせる事は子供にとつて大きな強味であり、矢鱈に恐がらないやうになるものです（大連双葉幼稚園松澤先生のお話）

コーヒーと紅茶がらは

◇―コーヒーを入れたあとのからを、よく日光に乾燥させてこれを針さしの中へ綿の代りに入れると、決して針が錆びません又この乾燥したものと炭酸ソーダとを混ぜ合せたもので食卓ナイフその他の食器を磨くと非常に綺麗に光ります。

×　×

◇―紅茶がらの方はこれをよく煮出すと相當濃い色が出ますから、それで富士絹やメリンスの色のはげたものを染めると品のいゝ濃い色に染め上がります、これは絕對にはげるといふ心配がありませんから、裾まはしなどにもいゝでせう、染め方は至極簡單で只だしがらをよく煮立て、そこへ染めたいと思ふ布切れを一度濡らして絞つたものを入れて、一緒にくた〳〵煮染めをすれば宜しいのです。色止めの必要は更にありません。

ミルクセーキの作り方

▲材料＝（四人分）牛乳一合五勺、砂糖大匙一杯半、卵一個半、レモン油三四滴、碎氷一合五勺

▲作り方＝鍋に牛乳とお砂糖を入れて火にかけ、お砂糖がとけましたらば火から下して、水に浮かせて冷しておきます、次に紅鉢なり口の大きい鉢に玉子を入れまして泡立器で充分泡立てます、氷を細かに碎きなほ布に包み木槌でたゝき細かにしておきます、全部出來ましたら、玉子の泡立つた中に冷めた牛乳と碎いた氷とレモン油三四滴を加へて、泡立器で手早くまぜ合せコップに入れて速かに供します、これは人數によりどんなにでも加減が出來ますし、道具もいりませずすぐ美味しく出來ますからおためし下さい

童話と朗讀の會

大連伏見臺兒童圖書館では二十五日午後一時から童話と朗讀の會を開催しますが、當日は滿鐵人事課の香川岩雄氏が童話を元本社記者青山捨大氏が朗讀をするさうです

家庭顧問

野球、拔いた肩の療法は……

【問】小生四年位前にキャッチボールをしてフトした不注意から肩を痛めた者ですが、それが未だに全快しないで惱まされてゐます、平生は別に痛みませんがキャッチボールをしたり肩をひどく動かしたりすると痛むのです、それも我慢の出來ぬほどのひどい痛さではありませんが何とかして完全に治したいと思ひます、よき療法を御敎へ願ひます（大連西廣場生）

慢性の關節炎です　斯んな療法を勸む

【答】慢性の關節炎でせう、電氣療法、溫熱療法、溫泉療法等をお勸めします、それから本當に全治するまでキャッチボールなど止めることです（三浦學）

お舟の競爭

ミツタントボンコ　センソウノマキ

橋本清史作並繪　（84）

ゴランナサイ　コウシテ　テキノ
ホリヨ　ノ　ウシロカラ　ウチナ
ガラ　ススンデイク

ウテバ　ミカタ　ヲ　ウツ　コト
ニ　ナルノデ　ニゲルヨリシカタ
ガナイ

ヤラレタ

ツヒニ　レンタイキシユ　マデ
ヤラレテ　イマハ　センメツ　ノ
アリサマ

グンヨウケン　ガ　ウシロ　ノ
グンタイ　メガケテ　トビダシタ
テガミ　ヲ　クビ　ニ　ツケテ

滿日各地版

奉天驛前交通整理・却つて改惡か
整理對象を顚倒してゐる結果 驛當局も俄かに狼狽

[illegible]

商議に二十三日常議員會を開催した際議案、代表派遣等につき種々協議したが審議事者側の議案は次の如くである
一、滿洲國輸入關稅改正に關する件
二、關稅賦課の際における商品の評價に關する件
三、小包郵便課稅に關する件
四、保稅倉庫に關する件
五、滿洲國各稅關貿易統計復活に關する件
六、滿洲國木材關稅に關する件

トラックに衝突

【奉天】廿三日正午頃市內住吉町九番地白十字堂の店員河野光臣(二〇)が自轉車に乘りオートバイと競走し琴平町と北二條通りに差掛つた際突然王振義(二七)の運轉せるトラックが前を横斷したのでアワヤと見る間にトラックの横腹に衝突し河野は自轉車と共に轉倒し人事不省に陷つたので直に永井醫院に擔ぎこみ應急手當の結果漸く蘇生せしめた

記念銀杯授與
米澤氏外三名

【遼陽】遼陽小學校長米澤信二氏外三名は滿鐵在勤十五年以上に達したので今回褒賞として銀杯を授與され二十三日石岡地方事務所長から交付された

また惡車夫
勝手に引きまはして 一圓の不當賃金要求

【奉天】奉天における惡車夫の跋扈のため奉天署では嚴重取締りを勵行してゐる折柄又もや二十三日惡辣なる車夫を發見したので直に留置場にブチ込んだが、この奴は河北省生れ撫順屯居住洋車夫王金仰(三〇)及劉月智(三七)と稱し二十三日午後二時二十五分頃市內青葉町において買物をした撫順機關區員高橋氏妻女と子供三人を二臺の洋車に乘せ奉天驛に行く處を故意に皇姑屯に赴き途中引返して漸く驛に到着し一臺につき一圓づゝの不當の賃金を要求した届出により奉天署から係官が現場に赴き直に兩名を檢擧したもので嚴重處分される

安東金組は 時の問題

安東、蘇家屯、吉林、チチハルの四地に金融組合を設置することは原則として決定してゐるがその時期は資金その他の關係で尚は考慮を要する方針を明かにした、即ち安東に金融組合を設置することは單に時間の問題に過ぎないことになった

關稅懇談會 安東側議題

【安東】協和會の主催で二十五日奉天に開く滿洲國關稅問題懇談會に對する態度を決定するため安東

瀋陽縣治安維持會
日滿兩國軍援助の下に 二十日組織を終る

【奉天】高粱繁茂期及その後における縣內治安維持のため瀋陽縣ではかねて治安維持會を組織すべく計畫中であつたがいよ〳〵六月二十日をもつて瀋陽縣治安維持會を發會しこれが顧問には天谷獨立守備第二大隊長、許瀋陽縣長を推薦し日滿兩軍の援助のもとに縣警察協力縣內治安維持の徹底を期することゝなつた

山東苦力へ 二千五六百萬元
素晴しい勞働者需要

[illegible]

で今や全滿的に勞働力の不足を告げ土木建築界は山東勞働者の移住を要望したがこれに對し財務局では

採木公司も 林場保護を請願
匪賊に惱む鴨江上流

【安東電話】鴨綠江採木公司を初め日滿木材業者は鴨綠江上流林區に匪賊猖獗し木材流出不能の事態を憂慮しさきに全滿木材業組合の決議を以て關東軍に林場保護を請願したが更に採木公司は安東日滿業者を代表して飯野首席參事を獨立守備隊司令部及び朝鮮軍司令部に派遣皇軍の駐防を請願せしめた

東邊道に流言

【奉天】最近通化を中心とした東邊道一帶の民間に「近き將來必ず滿洲國紙幣は不換となり各縣より發行せる流通券のみ使用さるゝであらう」との流言が盛んに傳はりこれがため無智な農民達は滿洲國紙幣の貯蓄を恐れ盛んに流通券と交換しつゝあるが右は同地方面に最近集結しつゝある共產黨並不逞鮮人團の金融攪亂と人心に動搖を起さすための謠言で當局ではこれが取締を嚴重にした

山林警察隊 編成を終る

【安東】鴨綠江採木公司の要請に依つて奉天省警務廳が新設した臨時山林警察隊〇〇〇名は臨江に於て編成を終り廿二日より行動を開始し一部隊は今期木材流出の最重要地點である五道溝作業地に派駐し編流筏の保護に當らしめてゐる

四散の田匪團 また盛り返す
頻りに策動中の情報

【鐵嶺】鐵嶺守備隊上田部隊の爲め半月餘に亘つて追擊され殆ど四散した田英賢司令の率ゐる賊團は康平縣西方遠く遁れ其後一時消息を絕つてゐたが最近又復蠢動し始め二十日頃には阜新縣八大王廟、二道河子、公荒附近一帶に蟠居し新立屯方面に出でんと策動中の形勢ありと

墜落、重傷の身に 匪賊團の襲擊
機の掠奪を恐れ自ら火を放つ
片岡軍曹、壯烈な最期

【錦州】昨年十二月廿八日〇〇飛行隊片岡軍曹操縱、田中通譯同乘「モス」機、中東西部線小蒿子驛北方地區において猛烈なる匪賊の

射擊

を受けて、片岡軍曹は重傷を負ひ機體に故障を生じて官馬驛西南方の凍結せる濕地上に墜落し機體を破損した、片岡軍曹は左大腿を貫通銃創の重傷を負ひ加ふるに大腿骨々折の爲め出血甚だしく田中通譯の應急手當を受けつゝある中、同日夕刻數十名の匪賊の襲擊を受けたが、田中通譯は〇〇機の敵手に委するを深く虞れ之に火を放ち熖々たる火燄の下に片岡軍曹をかばつて勇戰奮鬪一名の敵を斃し、數名を負傷せしめたが衆寡敵せず、片岡軍曹も亦身に重傷を受けたるも屈せずして敵に肉薄して

一名

を斃せしも遂に壯烈なる戰死を遂げた、田中早く大隊に知らせよ」
「おれはやられた、田中早く大隊に知らせよ」
夕闇を貫いた聲は正に片岡軍曹最後の叫びであつた
「軍曹を殘して生き延びるに忍びませんが御命令に從つて此の狀況をたしかに大隊に知らせます」
と田中通譯は血路を開いてその場を飛び出したのであつた、黑龍江省軍需牧羊場撫公處の牧夫の好意と母隊の搜索隊によつて田中通譯を救出したが、片岡軍曹の死體はその後百方手を盡したが發見し得なかつた、五ケ月を經過したる本年三月末當の匪賊の片割れをチチハル公安局にて

捕縛

し四月一日憲兵隊と公安局と協力して林甸南方地區小

驛附近の池の水の下に投げ込みあるを突き止め、之を收容して四月三日チチハルに歸還した、田中通譯は顏面其の他の負傷は既に治癒したが凍傷の爲め兩手首及兩足を切斷手術せられ今尚東京第一衛戍病院に不具の身を寢臺に横たへゐるのである

片岡軍曹の追憶
飛行第〇大隊 第〇中隊長 林 順二

航空兵軍曹片岡祝は岐阜縣本巢郡七郷村川部に生れ本年二十六歲獨身なり、父母兄弟三人妹二人を有す、田中通譯は明治四十二年長野縣北佐久郡大里村字諸口生れ獨身なり鄕里中學校を卒業後昭和三年度渡滿して公主嶺農業實習學校修業したのである

がつちりした體軀、悠揚迫らざる態度、いつもニコ〳〵として朗かな性格、そして彼は一かどのスポーツマンで特に野球、庭球、柔道では中隊中彼の右に出る者は無かつた、又一面デリカシーな感情の持主で時々美しい詩を作つて見せて呉れた。

彼の操縱振りを一言で評するとき堅實の二字に盡きる離陸の前の試運轉など人一倍長く丁寧で出發線に出ても無造作にスタートはしない、よく滑走地區の狀態を見極め、そしても一度飛行機を點檢してから始めてレバーを入れる、着陸でも自分の氣に入らぬと幾回でも根氣よくやり直したものだつた、空中勤務にはとても熱心で所澤卒業後直ぐ出征した爲正規の偵察操縱術教育を受ける暇が無かつた事を非常に心配して出動を命ぜられた前晩あたりは先輩操縱者にクドイ程質問し研究して居るのを見受けた、腑に落ちぬ事があると中隊長の所迄持つて來てトコトン迄研究すると云ふ熱心さであつた。

—△……▲—

昭和七年五月出征し頑丈で元氣一ぱいな彼は思ひ切り活動した、少し時間を食ふ空中勤務にはよく片岡を引當たものだ、七月中旬徐子鎭、盧二の兵匪數千は大擧し拉哈、訥河附近を襲ひ、拉哈警備の遠矢中隊長は古武士の最期にも似たる壯烈無比な戰死を遂げられたのであるがチチハル方面との通信連絡は全く杜絕し情況不明で一般は大きな不安に驅られてゐた、我中隊チチハル部隊は日々惡天候を冒して訥河、拉哈附近の敵情を搜索し友軍との連絡に任じた、此の操縱に當つたのは片岡軍曹である此の季節は丁度雨季の最中で連日小雨が降りしぶり暗雲低く垂れ籠めてゐたが、片岡軍曹は西岡中尉と共に晴れ間を利用し或は雲を衝いて勇敢に行動し數日に亘り訥河拉哈附近一帶の敵情を明にし、友軍相互の連絡に勉め以て其行動を容易ならしめた、此努力は非常なもので片岡軍曹の樣な體力の強い責任觀念の旺盛な者にしてよく成し遂げ得たのである。

—▲……△—

七月下旬より八月中旬に亘る海倫東方地區に於ける馬占山軍殲滅戰、此の時機は雨季の爲ハルピン飛行場は泥濘化し使用し得ない日が多く、我中隊チチハル部隊は連日遠く長時間を要し遠征して討伐隊の戰鬪に協力した、片岡軍曹も勿論日々出動して大々的に活動をしたのである、某日、此の日は郭家店附近で破れた馬軍主力が南方に逃走し〇〇〇團及田中大隊が之を急追した日でチチハル部隊は二機編隊を以て出動し此戰鬪に協力した、片岡軍曹は西岡中尉と共に二番機として出動したが途中漸次雲が低くなり地上二〇〇米、一五〇米、そして所々に降雨があり、目的地迄到着が危ぶまれた位であつた、さう〳〵編隊は降雨に遭つて互に見失ひ單獨行動を取るに到つた、片岡機は猛雨を衝いて果敢に前進し漸くにして目的地に到着したが戰場附近一帶は天候險惡到る所雨雲が垂れ下り、加之敵は地上で射擊の好機を待ち構へてゐる、危險この上もなかつたが勇敢にして責任觀念旺盛な兩人は雖航に雖航を續け戰場隈なく飛び廻り遂に敵の主力を發見しこれを兩部隊に通報し、又逃走中の敵に猛烈な攻擊を加へ大なる損害を與へ再び雖航してチチハルに歸還した、此行動は眞に生命を賭した決死的行動で其成果も偉大なものであつた。

—△……▲—

九月下旬、第〇〇團は北境警備隊をして勃利附近李杜軍を討伐せしめた、中隊は向野部隊を佳木斯に派遣してこの戰鬪に協力した、片岡軍曹も同部隊に屬し空中勤務者が少い爲毎日出動して白熱的な活動をなした、特に九月三十日北境警備隊が倭肯河を渡河し東岡子附近の敵を攻擊するに當り片岡軍曹は足立中尉と共にこの戰鬪に協力すべく出發した、然るに戰場に近くなるに從ひ降雨となり色々苦心したが戰場に進入する事が出來ないので遂に遠く三姓方面から迂回して戰場に入り雨雲を衝いて低空飛行を敢行し苦心慘憺遂に有利な情報を得之を警備隊に通報して其戰鬪を有利ならしめた、此行動も實に絕大な努力で堅實にして剛膽な彼の半面が窺はれるのである。

—▲……△—

彼の此の樣な決死的活動の場面は枚擧に遑無い程で、余は彼の功績に最大級の讚辭を呈するに憚らざるものである、征戰七ケ月既に戰場の地形、氣象、敵の戰法にも慣熟し操縱の技倆は漸く圓熟の域に達してこれからさいふ時期に戰死を遂げた、余は此の如き有爲な部下、空中戰士を失つた事は實に自己の腕をもがれ眼をくりぬかれるより遙に悲痛の念に堪へず、泣けども叫べども再び歸らず只々英靈の永遠に安らかに眠らむ事を祈念して止まない次第である

奉天造幣所 鑄造を開始

【奉天】滿洲中央銀行造幣所の工場內部は諸機械ではあるが整頓したので在奉知名士を七月一日招待し工場を參觀せしめるが、現在同廠では五錢と十錢の白銅貨を鑄造し、五十錢銀貨は現行の貨幣法が五十錢は紙幣として居るため、これを鑄造することができぬので、同法の改正が必要であるとされてゐる、尚ほ一日の製產額は十萬個程度で、幣制統一のためには新しい機械を購入し貨幣鑄造をせねばならぬとあり、八月一日からは一錢と五厘の銅貨を鑄造すると共に鐵がある見込みであると

輝く西〇團長 堂々遼陽へ
忠靈塔へ參拜して後 官民見送り裡に北行

【遼陽】熱河出動中の西〇團長は廿三日午後〇時三十分着列車で參謀及副官を隨へ來遼、地方事務所本橋庶務係長の案內で忠靈塔に參拜、玉串料奉獻、更に衛戍病院に到り麾下約四十名の將兵を一人宛慰問して負傷せし當時の活動狀況を聽き且つ慰め將兵悉く將軍の溫情に感激したと、將軍は同日午後二時十四分發「はと」で官民有志見送裡に北行した

遼陽チームへ 各方面から色氣
まづ蘇家屯、大石橋軍とを 迎へて華々しく對戰

【遼陽】遼陽に精鋭な野球チームが組織され各地から試合申込みがあり選手も意氣軒昂毎日汗だくの練習をやつてゐるが、先づ對抗試合として全蘇家屯と全大石橋から申込みを受諾し來る二日白塔グラウンドに於て午前は遼陽對蘇家屯午後大石橋と午前勝者のリーグ戰をやることに決定したと

怪荷物
防寒靴中から 拳銃の彈丸

【奉天】新京を發した營口行第二十二列車が二十二日午後五時十分奉天驛着と共に驛取締警官が車內を巡視中後部より三輛目三等車內の手荷物棚に所有者不明の怪しい風呂敷包のあるを發見し檢査の結果支那服夏物上下一着と支那式防寒靴一足が入れてあり更に防寒靴の內部から拳銃彈丸百四十四發が飛び出したので直に之を沒收すると共に所持者の大搜查を行つたが發見せず當局では時節柄重大視し引續き搜查中である

文官屯に 鼻疽發生

【奉天】二十二日午後五時文官屯居住野崎方の驢馬が發病したので奉天署の囑託高橋獸醫が檢診の結果鼻疽と判明したこれがため奉天署から係官が現場に赴きその處置をなしたが鼻疽發生は本年これが最初である

長嶺へ出發
尾藤調査班

【遼陽】關東軍特務部の資源調查尾藤班(尾藤大佐を班長とす)は廿一日來遼諸般の準備を整へ廿二日朝樋口鄰男(滿鐵社員)相原義成(軍囑託)の一行は遼陽公安隊十餘名の警戒で遼陽出發城東弓長嶺方面に向け出發したが瓜開する處に依れば同方面には有望なアルミニウー

警備會議の 遼陽側委員

【遼陽】鞍山の獨立守備隊で廿二日警備會議開催に付遼陽から清水警察署長、細矢鄰軍分會長、石岡地方事務所長、中村地方係長、滿洲國側から鈴木參事官代理、紀內副參事劉警務局長、長濱指導官が當日出席した

傷病兵歸還

【遼陽】遼陽衛戍病院入院中の傷病兵二十八名は二十二日午後十時八分發列車で內地に向け歸還した

各地片々

◇奉天 本溪湖煤鐵公司製鐵部の苦力雇入れは從來請負入札となつてゐたがこれではその間種々弊害を伴ふのに鑑み去る五日之を定傭制度と改め且從來の給料を支給する外獎勵金を與へることゝなつたので同公司使役苦力間でも非常に精勵し何等の動搖も見ないと

◇奉天 蜂谷總領事は丁鑑修交通總長、藤原郵政司長その他中島中村電政、郵便局長その他を二十三日正午官邸に招待し懇親宴を催した

◇奉天 蜂谷總領事は通化興津副領事を地方的に將來の交涉關係からこれを紹介する意味で二十五日午後六時から粹山において于芷山司令官、菅原顧問、滿良顧問其他省警備司令部幹部を招待し一夕の懇親宴を催す

旅順放送

▲米岡市長は二十四日午後六時から壽に於て市會議員を招待し晚餐會を催した

▲乃木町二ノ二一泉由柳氏方では九日三男文雄君が出生

▲關東廳醫官田上賴之氏は母堂危篤の報に接し去る二十一日急遽鄕里熊本へ歸省したが母堂は二十三日遂に逝去した

▲二十三日市會に於て可決された結果改正された公告揭示個所は左の如く定められた
川端町花水橋、乃木町二丁目迎橋附近、同三丁目派出所横、鯖江町元市役所前、朝日町鐵道線路踏切、關東廳裏門前、吉野町十字路、松村町滿電停留所前、明治町派出所前

▲二十二日正午過ぎ水師營居場西方畑中に於て東溝屯七ノ一王新壽(三〇)外三名は井掘工事中周圍の岩石が崩壞し王はその下敷となり大腿部骨折口唇に切傷を蒙り他に死傷は無かつた

沿線往來

▲清水遼陽警察署長 廿二日鞍山往復
▲石岡遼陽地方事務所長 同上
▲吉田文藏氏(遼陽金融理事) 廿二日各所歷訪着任挨拶
▲松岡滿治氏(遼陽金融前理事) 二十二日各所歷訪告別挨拶二十三日赴任
▲松岡滿治氏(元遼陽金融理事) 二十三日はさて家族同伴大連に赴任
▲高木儀三郎氏(遼陽特產組合長) 二日はさて內地から歸遼

意外、お腹の中に『サイダー瓶』

精神病者が肛門から入れたもの 國手驚きながら手術

【瓦房店】復縣東沙包子農業宋玉徳二男徳春(二三)は數年前から遺傳性の精神病であるが二、三日前から不圖大便がピッシヤリ出つて腹滿の樣に腹が膨れて來た、今まで健康體であつたが急に腹が膨れた症狀に不審を抱き家族が心配して滿洲國人の王某と云ふ醫師を招いて往診を受けた處腹の中に石の樣な塊りのある事を發見、いろ／＼と手當をして見たが施術の途も知らず萬策盡きて實父及び王漢藥士附添ひ瓦房店醫院に擔ぎ込み佐藤外科醫長の診察を受け早速レントゲンにかけて見ると意外にも二合入りサイダー瓶が而も腸の眞下にある事を發見、腹を割つて出すより途がないが、施術すれば恢復するまで相當日數を要するので遂に右手を大腸に突き込み出しかゝつたが、サイダー瓶は口先が細いので這入るのは這入つたが瓶の底が太く逆に出すのだから骨盤に引きかゝつて容易に出ない、遂に佐藤博士獨特の手腕を揮つてやつとの事引きずり出したが矢張り二合入りサイダー瓶だつた、實父は謝々を連發、三拜九拜して命の親であると喜んだ

サイダー瓶を肛門に入れた原因は同じ部落に張某といふ女の精神病者があつて二人連れで遊んでゐるうち女の方がサイダー瓶を局部に入れて見せたので無謀にも自分の肛門に自分で犬蹲いをして押し込んだと陳述してゐるが、如何に精神病者でも肛門から瓶を入れる時の痛みの感覺に變りはない筈、自分で入れたとは信じられず、平素精神病者で厄介扱ひにする繼母の宋氏某が殺人の意志で無理矢理に押し込んだのではあるまいかと其の筋の目が光つてゐる

右につき佐藤院長は語る

二十五ケ年有餘病院に勤めてゐるが始めての體驗で確に醫學界の珍談である、現物のサイダー瓶は血のついた儘教材資料として記念に殘してある

庭球協會の設立機運濃し

敗戰の憂目をみて 營口市民に擡頭す

【營口】去る十八日南部軟式庭球大會が遼陽で開催せられ營口からも代表選手出場して淚ぐましき奮鬪振りを見みたが惜い哉實力を發揮し得ず敗戰の憂き目に遭遇せしは誠に遺憾の至りで、勝敗は時の運とは言へ當日の戰績を思ひめぐらせば全營口の庭球愛好者は緊褌一番して互にスポーツを享樂し技倆の向上發展に邁進し庭球協會の設立を痛感せずにゐられない、今回の試合は全營口選手として出現したやうだが斯かる行事にはこれを處すべき統一機關が是非必要とされ勿論今回の代表者は奮鬪を續けたことは事實であるが代表の大部分が或種の人に限られて居た、これは統一機關がないためで營口選手中技倆優秀の士が參加出來なかつた事を遺憾とされ茲に於て協會の設立も叫ばれる所以で幸ひにこれを機會とし軟式庭球愛好者が一致團結し斯道發達に奮起し營口庭球協會創立の必要が叫ばれるに至つた

豪雨沛然 農園甦る

【開原】六月初旬より潤雨なく漸く發芽期に入れる農園は稚苗萎し水田は枯渇に瀕せんとしつゝありしが六月二十一日午後一時頃より豪雨沛然として降り二十二日もまた斷續潤雨ありて萬物皆甦り幸ひに愁眉を開くを得た

奉天附屬地境界道路修築

【奉天】奉天の國際道路と稱され附屬地と滿洲側の境界線を成す道路は舊軍閥時代屢々交渉を重ねたが容易に修築について纒まらなかつた、それが事變により一掃され市政公署との間に愈々工事費十三萬圓をもつて立派な道路を作ることになつた、工事費のうち三分は滿洲國側が負擔し七分は滿鐵が負擔し共同管理道路とする方針

安東の雨乞ひ

【安東】安東地方事務所では不自由な制限給水に文句一ついはぬ市民の自制と愛市精神に感激しつゝも降りさうで降らぬ雨を招くため二十二日午後三時半貯水池の堤防上で都甲神職に依つて雨乞の神事を厳修し續つて關屋所長、近藤地方、中村工事兩係長等は不眠不休の現場係員と神酒を酌み交してその勞を犒ふた【寫眞は乾からびた水源地における雨乞ひ】

稻荷神社の大祭り

奉納餘興數番

【鐵嶺】元町末廣稻荷神社大祭は二十四日同境内において盛大に擧行され子供御輿の渡御を始め午後からは子供相撲あり夜は公會堂において鐵嶺ホテル、金波、萬安、美妓連中を始め有志連の奉納餘興あり終日賑ふことであらうが奉納餘興は公會堂で開催するにつき入場者は參拜の際神社において入場券を受けられたしと

避難民歸鄕

各地治安恢復

【營口】過般來近郊各地に出沒して惡逆を逞しうした匪賊は掠奪と人質拉致に農民の心膽を寒からしめ一時營口市に避難せる老幼婦女凡そ三千人を算したが日滿軍警の討伐と空襲に賊は擊退し稍小康を得たる形と見た避難民の一部分は昨今弗々と歸鄕する者かなりの數であると

鐵嶺領事館館員引上げ

【鐵嶺】殘務整理を急いでゐた石塚副領事以下の鐵嶺領事館員は事務も完了したので愈々二十六日鐵嶺を去りそれ／＼任地に出發することに確定した、鄭家屯領事館に赴任する佐藤書記生は同日午前八時七分發龍江行列車で出發し石塚領事棚平書記生は同日午後零時半の特急にて南行すると

金州神社造營許可

【金州】かねて關東廳に對し許可出願中であつた金州神社の造營は二十日附許可二十二日金州民政署を經て出願人代表者加世田彌二郎氏へ手交された、なほ本許可と同時に寄附募集許可願をも警察當局に提出せしを以つて許可あり次第いよ／＼本格的に造營の實行に移ることゝなつた

奉天軍と對外二回戰

鐵嶺庭球軍

【鐵嶺】全開原庭球團を迎へて善戰せるも不運敵手將軍のために敗られたる全鐵嶺軍は二十五日奉天庭球軍を迎へ松島町コートで對外第二回戰を催す、メムバーは從來と變りなきも意氣において前回に優るものあり必勝を期して戰ふにつきファン多數の應援を望むと

丁總長の招宴

【奉天】來奉中の滿洲國交通部總長丁鑑修氏は二十二日午後七時よりヤマトホテルに在奉日滿知名士並に各國領事を招待し盛大なる招宴を催した

開宴に先立ち丁總長は事變以來種々の故障を生じてゐた滿洲國の鐵道も今や全く回復し今後は愈發展建設期に入るものであるが滿洲の鐵道はひとり滿洲國の鐵道としてばかりでなく廣く世界の公道としてこの發達に協力せられたいと挨拶をなし、これに對し蜂谷總領事は一同を代表し丁總長は單に鐵道の交通ばかりでなく世界各國を結ぶ精神的交通の接近に大きな貢獻を齎らされることを堅く信じてゐる旨の答辭をなし宴に入り八時半盛況裡に散會した

營口稅關の接收記念宴

【營口】營口稅關では本月二十七日は同稅關接收滿一周年に相當するので記念のため同日午後五時三十分より同構內で宴を開くべく夫々招待狀を發した

遼陽プール近く開場す

【遼陽】遼陽のプールは內部と水道管の修理も近日完了するので月末から水入れを行ひ七月四、五日頃にプール開きの豫定である、本年は機關區列車區も移轉し滿鐵社員の會員も減少せる爲め市中各區の手により改修を施すことに決定近く第一期工事として西街道路に下水暗渠を敷設すると共に從來の側溝を撤去して幅員を廣めることゝした

市廳舍建築資金不足額起債決定

二十三日旅順市會

【旅順】旅順市廳舍建築資金不足額一萬二千圓起債の件並に昭和八年度歲入歲出豫算追加の件、旅順市公告式規定中改正の件に關する市會は二十三日午後一時四十分から宅島、大西兩議員病缺にて開會し米岡市長の挨拶の後逐條審議を行ひ岸田助役より各案に對し詳細な說明ありいづれも質疑應答の上全部可決確定して同四時三十分散會

遼陽に凱旋

野戰病院班

【遼陽】熱河方面出動中であつた第一野戰病院班は二十二日はさて遼陽に凱旋した驛頭には官民の多數が歡迎した

病身、夫を尋ねて旅行中途に斃る

鮮女を繞る人生悲劇

【奉天】朝鮮郭山郡居住農業金子昌(三)は滿洲で一働きしやうと四年前新婚間もない愛妻を殘して郷里を出奔し滿洲の大石橋に向つたまゝ杳として消息なく彼の妻李氏(三)はひたすら夫の身の上を案じてゐたがその後李氏は長男長孫を分娩しまづしい生活を續け夫の所在を搜査してゐた、その中李氏は肺結核にかゝりこのまゝにしてなれば夫にも逢はれず死んで仕舞ふし愛兒(三)も親も判らぬ身となるのでこう考へた李氏はゐてもたつても居られず迫る死の身を押して長孫と共に二十一日午前六時着の第一列車で來奉した、李氏は奉天に着くや病は再び重くなり歩行も出來ず言葉も出ないほど弱りきつたので遂に奉天署の保護を受け同日赤十字病院に入院したが間もなく同日午後二時ごろ夫に逢ふことも出來ず愛兒を殘して絶命した、奉天署では更に李氏の死體を消防隊に引渡すと共に長孫を滿大醫院に保護せしめることゝなつた

旅順醫藥學會

【旅順】旅順醫藥學會では二十三日午後三時三十分から旅順醫院階上食堂において左の如き研究發表講演會を開催した

一、靜脈性（排泄性）腎盂撮影法の小經驗及び片側性腎盂像缺如の意義に就いて　杉田　一彥

二、前額竇炎の再發豫防に關する指示　大藤　敏三

三、巨大なる「メッケル」氏憩室に依りて惹起せられたる腸捻轉の一例　笠原親之助

四、遷延性心內膜炎例　森脇　襄治

五、葡萄糖注射劑の調製並に滅菌法に就て　古澤　平太

近づく温泉デー

蓮の蕾に凉味横溢

【五龍背】「温泉デー」近づく五龍背は蓮池には蓮の蕾が一杯で早いのはもう開花してゐるのもある葉の塊は雨に洗はれて美しくその下には鮒が凉味横溢してゐる九日の温泉デーの夜を彩る放螢のため目下盛んに螢を捕へてゐるが沿線各驛からも應援的に螢を送つて來る筈である

鐵嶺のスポンヂ野球

【鐵嶺】體育協會主催の全鐵嶺スポンヂ野球大會最後の一戰は二十二日午後四時より小學校庭に開始された

連戰連勝の地方事務所軍並に關東支庫軍は陣容を新にし必勝の意氣を示し戰前より決勝戰の興味を充分ならしめたるが地事軍先攻して劈頭二點を入れ支庫軍これに代つて一點を奪還、二回目地事軍の健棒物凄く一擧四點を入れて斷然優勢の意氣を示したるに反し支庫軍は二回目、六回目に僅か一點づゝを入れたのみ、八回目に到るや地事軍の打擊頓に冴えてよく打ち敵の混亂に乘じて一擧五點を占めて完全に敵を制す、支庫軍代つて漸く一點を入れ十一對四の大差あり最後九回目の攻擊も空しく遂に七點の大差を以て地事軍快勝した

旅順弓道戰

【旅順】旅順武德會弓道部主催第四回森本記念弓道競技會は二十五日午後一時より武德會に於て開催される事になつた、これまでの成績によると第二小學校南木氏二回、振武館岡部氏一回優勝となつて居り敗北者達は最近連日猛練習を續けて居り優秀な成績を示してゐるから當日の競技は火花を散らす事だらう

金州城內道路改修

【金州】金州城を四方に貫ぬく道路は狹隘の上に粗惡な側溝があるため危險少なからずかれてこれが補修を叫ばれてゐた處今回土木管區の手により改修を施すことに決定近く第一期工事として西街道路に下水暗渠を敷設すると共に從來の側溝を撤去して幅員を廣めることゝした

玉利理事赴任

【營口】今回の金融組合役員異動に付て鐵嶺金融組合理事に榮轉の元營口組合首席書記玉利勇氏は二十三日午後零時十分發にて家族同伴赴鐵の途に就いた

警備會議の營口側委員

【營口】二十二日午後一時より大石橋守備隊で警備會議を開會するので營口より大畑憲兵隊長寺田警察署長樋口在鄉軍人分會長の三氏出席の爲午後零時十分發赴橋せり

本田警務主任榮轉

【鳳凰城】鳳凰城警察署警務主任警部本田善治氏は二十一日附を以て撫順警察署へ榮轉を命ぜられ來る二十六日赴任の豫定である、殘された功績は實に偉大なるものあり氏の離鳳は一般から非常に惜まれてゐる、尙後任は未定在住官民一同は二十四日夜同氏のため盛大な送別會を開催することに決定した

……方面の入會を歡迎すと、因に會費は大人及學生一圓、小學兒童四十錢で地方事務所社會係へ申込まれたしと

遼陽片々

楊縣長は豫てから辭職説が傳へられて居たが各方面から留任を懇望され今日まで實現せずに居るが愈辭意堅しと▲遼陽から熱河方面に出動した野戰病院班が凱旋したがまた引續き第〇〇聯所屬の輜重支隊も遼陽に歸還すと▲滿洲建國第二回運動會も盛會裡に無事終了二十一日城內で關係者の慰勞會があつた招かれた一員滿鐵社會主事片山君教育局長外數名を滿月に案內して日滿親善をやつたが日本藝者の手踊りは滿洲人にも頗る好評で口先外交よりこんな會合が眞の親善になると云つて御座つた▲料亭なつめは今度奉山線打虎山に臨時支店を設置することになり宮澤君が約十名を引率して出發準備中である▲忠靈塔移轉は何時の事やらなんて云つてる向があるが實行委員の諸君は公務の傍ら夜分まで汗だくで基金の募集その他に專念して居る實際の處數萬圓を要する忠靈塔の移轉は相當難事ではあるが委員諸君の努力をみた時誰が時の問題等と他人事の樣な事が云へ樣か寧ろ進んで手傳ひませうと云ふ勇氣はないか▲時局委員會は財團法人の利子を使用優先權者の如く考へては居ないだらうかと云ふ說をなすものあり▲競馬俱樂部解散要求が出て居るので近く理事會に諮る由であるが競馬俱樂部は最初から利益目的ではない若遼陽振興發展のため先づ競馬をやつて多少でも土地にうるほう樣にしたいと云ふのが其の出發點であつたと▲理解のない者が一人や二人でも居るのであれば速に解消して掃き直すに限る

高貴藥配劑　(シマズ、イタマズ)　新案特許

藥效の卓越・無刺戟性・自働點眼容器

井上獨逸博士處方　中尾藥學博士指導

Eye Water ROHTO

ロート目藥

新案特許

下部のキャップ(ネジ蓋)をとり、瓶の上のゴムを輕く押せば一滴づゝ點眼出來ます。藥が少しも無駄にならず便利、衞生、經濟を兼ねた最新式の點眼容器です。

結膜炎、角膜炎、眼瞼緣炎などは黴菌に原因することが多い。これ等の眼病に、殺菌力の強いロートの點眼は最も有効である

記帳、讀書、裁縫、其の他細かい仕事で眼が疲れた時ロートの一滴は視力を恢復して、能率を增進せしめる

「小兒用ロート目藥はちつとも痛くなくて、ほんとに氣持が好いわネ」

小兒用ロート目藥に就て

小兒用ロート目藥は十五歲以下の小兒、乳兒の眼病治療豫防を使命として處方されたものでシマズ、イタマズどんな小さなお子樣方にも快よく安心して用ひる事が出來ます。

敢然と眼を護り、視力を強めるロート目藥！ それは近代人の無二の伴侶であり、マスコツトである

●全國何處の藥店にも販賣す

生產合理化の結果
藥價低廉
自働點眼容器入

德用	五十錢
大瓶	三十錢
小瓶	二十錢
小兒用	二十錢

油斷のならぬ初夏の眼病
結膜炎(はやり目、やに目、ち目)(トラホーム、はれ目等)と角膜炎(かすみ目、なみだ目)(ほし目、たゞれ目等)に就て

青葉に初夏の陽光が燦々と降りそゝぐ五六月の頃は、強い日光と黴菌の發生によつて、いつも眼病の横行を見るものであるが、其中でも一番多い結膜炎と角膜炎に就て簡單に述べて見よう

一、結膜炎　これは結膜(即ち眼瞼の裏及び白眼を蔽ふて居る薄い膜)に起る炎症であつて、本病に罹ると結膜が充血し、眼脂が出る、眼瞼が腫れる、明るい光線に觸れると羞明ゆくて眼が開けられない、又淚がよく流れ、チク〳〵眼が痛むことがある。俗にはやり目、やに目、はれ目、ち目等と呼ばれるのがこれであるがトラホームも結膜炎の一種である。

原因はコツホウイークス氏菌、重礫菌其他の黴菌によるものが多く又埃塵、砂、煙などに起因することもある。

本病に罹つたならば、每朝洗面の時きれいな冷水で眼をよく洗ひ、眼脂などの不潔なものを拭き取り每日數回、本病に有効なロート目藥を點眼するとよい。

結膜炎に對する ロート目藥の效果

ロート目藥が結膜炎に對して特に著しい治病效果のあるのは何によるかといへば、それは第一に、ロート目藥の強い殺菌作用によつて病原菌を殺し、消炎作用によつて結膜の炎症を消散せしめると共に收斂作用、鎭痛作用によつて直接に充血や腫れを引かせ、痛みを止める等の働きが綜合的に、且つ合理的に行はれるからである。加之ロート目藥が無刺戟性(シマズ痛まぬこと)の特性を併せ備へてゐることは、實に近代眼科藥の理想を實現したもので、點眼して眼の醒めた樣な、ハツキリとした快感は全く他に比類を見ないものである。

二、角膜炎　これは角膜、即ち眼球の黑い部分に起る炎症である。その症狀としては黑眼に小さな白い星が出來たり、又これが濁つたりする、或るものはひどく淚が出て眼瞼が濕潤し、又結膜炎の樣に光線に對して羞明を感じ、痛みを覺えることがある。俗にかすみ目、ほし目、なみだ目、たゞれ目などと呼ばれるのがこれに屬する。

本病の家庭療法は、大體結膜炎の項で述べた通りを實行すればよいが、羞明感が特に甚しい時には眼帶をかける事が必要である

角膜炎に對する ロート目藥の效果

ロート目藥の優れた消炎作用は、角膜の炎症に對して極めて有效に働き、强き收斂作用と相俟つて、眼の曇りや、ほしを去り、眼瞼の腫爛を癒し、炎症の減退に從つて羞明感や流淚が少くなり、鎭痛作用によつて患部の疼痛は押へられ、茲に著しい效果を見るのである。

現代眼科藥の最高標準

ロート目藥は本邦眼科醫界の權威、井上獨國醫學博士が國民眼科衞生の立場に於て多年研究の結果、治病上並に健眼上、最も有效適切なる處方を、藥學博士中尾万三先生指導の下に嚴製せるものにして我國醫學、藥學の粹を蒐めて現代眼科藥の最高標準を行くものであります。

家庭藥の使命―効力第一

手輕に用ひて眼病を早い目に治すといふことは家庭藥たる目藥の第一使命であります。ロート目藥は優れたる收斂作用、防腐、殺菌作用、消炎作用、鎭痛作用など、凡そ眼病の治療に必要な諸作用を完全に具備し、從つて何等他の藥液を以て眼を洗ふ手數を要せずして速かなる治病效果を有するものであります。

眼を刺戟せず(シマズ、イタマズ)

ロート目藥は近代眼科藥の理想を實現し點眼して眼に不快なる刺戟なく(シマズ、イタマズ)眞に「眼の醒めた樣な快感」を覺えることは誇るべき特色の一つであつて、これは眼病治療上は勿論、又スポーツの前後或は讀書、記帳、裁縫などの細かき仕事に從事する時に用ひて最良の効果を收めます。

適應症

結膜炎、結膜充血、眼瞼緣炎、角膜炎、學校眼炎、トラホーム、疲勞眼、角膜翳、麥粒腫、淚囊炎等

俗稱(のぼせ目、はやり目、たゞれ目、やに目、血目、かすみ目、ほし目、こり目、くもり目、雪目、めぼし、つき目、はれ目、かわき目等

本舖　山田安民藥房
營業所　大阪市東區南久寶寺町
工場　大阪市東成區猪飼野町

危機を孕んで來た 南支那の排日
わが海軍待機警戒中

【東京特電二十四日發】南支那方面における排日運動は最近頓に活況を呈し十九路軍及び廣東の陳濟棠はアメリカより機關銃、飛行機等を續々購入し抗日武力の充實を圖り何時爆發するとも圖り難い情勢にあるので海軍省では二十四日第十三驅逐隊を馬公に、軍艦五十鈴を福州に、砲艦嵯峨を廣東に出動待機するやう命令を發した

り知れぬ情勢にあるため海軍省は二十四日軍艦五十鈴を福州に、嵯峨を廣東に滯留せしめ警備に當らしむると共に、第三驅逐隊を馬公に待機せしめてゐるが、海軍當局は此等排日は進展するものと成行を非常に注視してゐる

南支排日狀況 海軍省着情報

【東京廿四日發國通】南支方面の排日狀況につき海軍省に達した情報を綜合すれば左の如し

一、廣東を中心とする西南派の反蔣運動は南京側の策動により內訌を生じ文治派は旗揚げに焦慮して居るに對し、實力派は自重し行動する機構あり、只彼等の武器輸入競爭による實力增大は侮り難き情勢にあり

二、最近南洋より歸國した華僑の宣傳隊の一部は福建省各地で排日宣傳をなし居り、日支關係好轉せざるのみか益々排日增大の兆あり

情勢以上の如く南支の排日活況を呈し來り抗日何時爆發するやも測

京大學生 三名を引致

【東京二十四日發國通】瀧川教授事件に端を發した學生運動は文政當局の彈壓態度に抗し漸次非合法的色彩を帶びつゝあるを知った本富士署では二十四日午前十一時在京學生團の本據たる赤門前、布袋館を襲ひ林田、井上、石黑の三名を責任者として同署に引致し秘密出版物數百部を押收取調中であるが井上、石黑は東大擴大會議の秘密會合に出席した爲め當分留置される模樣である

奉天の防空演習 きのふ晝夜に亘って

【奉天電話】防げ空、護れ國、奉天における軍民擧つての防空演習は二十四日より擧行された、二十四日午前九時

國交を斷絶せる甲乙兩國飛行機は國境附近において早くも空中戰を演じ午後七時十分京城方面より飛來せる三機編隊の敵重爆機は滿鐵本線に沿ひ高度四千メートルを北進すとの情報により奉天市各所に配置の警備班はそれ〴〵警戒の任に當つてゐる、午後八時四十分敵機の空襲を受けサイレン汽笛、寺院の鐘の警報に市民は

一齊に消燈し奉天全市は瞬く間に暗黑と化す、敵機は友軍の照空隊の活動と飛行機及び高射砲隊の奮戰により二機を擊墜せしめた、然るに敵の投下せる爆彈で中央廣場記念碑附近に火災起り若干の負傷者を出したが大したこともなく濟んだ、又午後九時敵三機編成、重爆擊機は興京上空を西進したとの情報により午後十時敵機襲來の

警報とともに奉天市は再び消燈して暗黑化したが敵機は友軍飛行隊及び高射砲隊の奮鬪によりその一機を擊墜し完全に敵機を奉天上空より驅逐することができた、又奉天市附近にもその間爆彈が投下され市內の爆破を試みたが警備班のため擊退され危機に瀕した奉天市も

無事であることができた斯くて午後十時半演習を盛大裡に終了した

早大對滿鐵硬球試合

濱松爆發事件 原因、被害

【東京二十四日發國通】陸軍省では濱松飛行聯隊火藥庫爆發事件に關し廿四日大要左の如く發表した

▲原因　自然發火、又は外部よりやった行爲と認むべき疑ひなく爆彈整理に當って居た火工長の誤りに基くものと認定す

▲被害　兵器建築等の被害總額約百五十萬圓、人員爆死者二名、重輕傷者十五名、飛行機燒失六機

五・一五事件 常人側公判 九月廿六日と決定

【東京二十四日發國通】五・一五事件の常人被告大川周明、立花孝三郎等三十名にかゝる爆發物取締規則違犯、殺人及び殺人未遂の第一回公判は九月二十六日開かれる事となったが其の準備公判は二十四日午前十時より東京地方裁判所陪審大法廷で神垣裁判長、木內檢事係り、鵜澤、角田兩氏はじめ三十餘名の辯護士立會のもとに開始、本間憲一郎等二十名出廷、裁判長、檢事、辯護人、被告の間に公判に就き打合せを爲した、非公開の爲め內容は明らかにし得ぬが被告は何れも豫審の犯罪事實を素直に認め陪審は辭退したらしく第一回公判は九月二十六日に開廷後火、木、土曜の隔日に公判續行の筈

臨時競馬 ＝第二日＝

臨時競馬第二日午後は東南の風やゝ強く砂塵をあげてゐたが入場者相當多く福券賣場もなか〳〵の活氣を呈してゐた、第四レースよりの成績左の如し

▲第四競馬（改良新古呼六頭）千六百米第一着三共（川合騎手）一分五九秒四、第二着三鳳四馬身、第三着長輝四馬身、配當單式八圓三十錢、複式一着馬七圓七十錢、二着馬五圓八十錢

▲第五競馬（豐濃六頭）三千二百米第一着福花（田中騎手）七分二九秒二、第二着若宮、第三着日新、配當單式六圓八十錢、複式一着馬五圓十錢、二着馬五圓三十錢

▲第六競馬（春抽九頭）千八百米第一着幾松（堤騎手）二分三六秒二、第二着兎月一馬身半、第三着秀鳳一馬身半、配當單式五圓六十錢、複式一着馬五圓十錢、二着馬五圓五十錢、三着馬六圓三十錢

▲第七競馬（古抽七頭）千六百米第一着三白（二渡騎手）二分一〇秒二、第二着吉林半馬身、第三着若葉二馬身半、配當單式四圓八十錢、複式一着馬五圓六十錢、二着馬十四圓九十錢

▲第八競馬（春抽四頭）千六百米第一着榮譽（內田騎手）二分一〇秒一、第二着先進四馬身、第三着飛姫大差、配當單式六圓

▲第九競馬（古抽七頭）二千米第一着香寶（山下騎手）二分五一秒四、第二着華王鼻、第三着乙女三馬身、配當單式六圓十錢、複式一着馬五圓七十錢、二着馬九圓

▲第十競馬甲組（春抽八頭）二千米第一着多摩（川合騎手）二分五一秒二、第二着美女半馬身、第三着千鳥大差、配當單式八圓三十錢、複式一着馬五圓五十錢、二着馬七圓四十錢、三着馬十圓二十錢

▲第十競馬乙組（春抽八頭）二千米第一着小車（石田騎手）二分四六秒四、第二着高妙大差、第三着紀生四馬身、配當單式五圓七十錢、複式一着馬四圓五十錢、二着馬四圓七十錢、三着馬四圓九十錢

▲第十一競馬（古抽九頭）千六百米第一着龍（堤騎手）二分六秒四、第二着角倭首、第三着宇治三馬身、配當單式十八圓四十錢、複式一着馬五圓八十錢、二着馬五圓四十錢、三着馬八圓

▲第十二競馬（古抽八頭）千八百米第一着五佑（內村騎手）二分二六秒四、第二着妙見一馬身、第三着昇龍半馬身、配當單式十三圓八十錢、複式一着馬五圓四十錢、二着馬五圓十錢、三着馬七圓二十錢

▲第十三競馬（古抽六頭）二千米第一着金樂（橋本騎手）二分四九秒四、第二着南部、第三着常盤、配當單式十一圓六十錢、複式一着馬九圓、二着馬十五圓五十錢

▲第十四競馬（春抽十頭）千六百米第一着淸山（小川騎手）二分二三秒二、第二着秀三馬身、第三着野州五馬身、配當單式九圓九十錢、複式一着馬五圓八十錢、二着馬五圓五十錢、三着馬七圓六十錢

▲第十五競馬（古抽十頭）千八百米第一着美州（福島騎手）二分二九秒三、第二着緋縅六馬身、第三着永天鼻、配當單式七圓十錢、複式一着馬五圓八十錢、二着馬七圓、三着馬十二圓五十錢

長江の增水 四十七尺に達す
邦人婦女子避難準備

【漢口二十四日發國通】長江の增水は遂に四十七尺に達し日本租界と特別一區の江岸は二寸の淺水を見た、本年の水は增水が非常に早く昨年の本日より八尺、一昨年より十二尺高いのでこの分では大水害は到底免れないと見られ邦人婦女子は既に避難準備をなしてゐる

手榴彈爆破！
今西軍曹、折田伍長遂に絶命 兵器材運搬中の椿事

【奉天電話】〇〇隊〇中隊の步兵軍曹今西一雄、同伍長折田繁兩氏は二十四日午前十時五十五分頃他の下士官、苦力等とともに奉天精廠會社附近において某方面に輸送する兵器機材を運搬中突如手榴彈五個が自然爆破しその場にあって指揮中の今西軍曹は腹部に、折田伍長は顏面に何れも重傷を負うたので下士官は直に兩氏を衛戍病院に擔ぎ込み應急手當を施し、一方附近に類燒するを防止したが收容された兩氏は間もなく絶命した、兩氏は何れも都城出身である

水道掃除日割

大連民政署水道課では左記日割により第四回水道鐵管掃除を行ふ

▲二十六日　青雲臺、若松町、文化臺、雲集街、日吉町、橘立町

▲二十七日　光風臺、晴明臺、新起街、蓬萊町、尾上町

▲二十八日　桃源臺、臥龍臺、平和臺、宮久町、不老街、長生街

▲二十九日　鳴鶴臺、秀月臺、靜ケ浦、花園町、水仙町、菫町、長者町

▲三十日　轉山莊、老虎灘、山吹町、菖蒲町、桔梗町、白菊町

▲七月一日　信濃町、美濃町、濱速町、吉野町、白菊町、千草町、早苗町、若菜町、芝生町

前田氏告別式

【上海特電二十四日發】前田滿鐵事務所長の告別式は二十四日午後一時から日本人倶樂部で神式の下に行はれた、居留官民多數から贈られた花環に埋められ莊嚴なる神官の祭詞に始まり石井總領事以下官民の參列極めて多く盛式裡に二時了した

けふ御目出度き 御二方の御誕辰日
時節柄御催し御取止め

【東京二十四日發國通】皇太后陛下は二十五日を以て四十九回の御目出度き御誕辰を迎へさせられ又秩父宮殿下にも三十一回御誕生日に當らせられるが時節柄とて大宮御所表町御殿とも特別な御祝宴御催し物は一切遊ばされずと拜承する

軍警衝突事件尖銳化
大阪師團、府警察部 聲明書を發表
兩者の對立俄然緊張

【大阪特電二十四日發】大阪北區天神橋六丁目市電交叉點において第四師團步兵第八聯隊第六中隊一等兵中村正一（二二）が停止信號を無視して線路を橫斷せんとしたとかで曾根崎署交通巡査戸田忠夫（二七）との間に惹起された「ゴー・ストップ事件」はその後軍隊警察双方とも互に讓らず、遂に正面衝突へまで尖銳化するに至ったが右につき第四師團井關參謀長はこゝに七項目にわたる聲明書を發表しこれに對し府警察部も同樣粟屋部長より知事に代って事件調査の眞相とこれに對する態度を發表なし、こゝに兩者の對立は俄然緊張を示し今後いかに進展するか豫測を許さぬ形勢を示すに至った、卽ち兩者の聲明書の內容を示せば左の如くである

井關參謀長聲明書

信號に氣付かず前進せんとしたのを突如後から襟首をつかみ派出所に連行せんとし中村一等兵が從順に「行くから放せ」といふのを、更に前から上衣の釦が全部はづれるまで無法に引張り左腕をもつかんで衆人の面前で重大な侮辱を與へたのみならず派出所內の奥土間で戸田巡査は二、三詰問の後右拳で三、四回顏面左上唇を強打ついで左手で右耳部を毆り鼓膜二ケ所に裂傷を負はせ口からは鮮血の流れ出るのを引き續き怒號しつゞけた

（大要）

（一）中村一等兵は全く不注意により信號に氣づかず橫斷せんとせるもので故意にしたものでないから本人は將來を戒めるに止め、處罰しない、なほ今日に至るも警察側より交通違反があったとの何らの通告にも接しない

（二）本人は當時逃走の意思は全然なく

（三）戸田巡査に抵抗もせず

（四）酩酊もしてゐなかった

（五）中村一等兵より全然手出しをせず、終始從順で、操りかゝられてこれを防ぐため巡査を押した際巡査の第二釦が取れたのみで、この點多數の證人がある

（六）假りに現役軍人が非行をなしたとしても警察は速かに憲兵に通知して引渡せば足る、しかるに當時何らこの處置をとらず通行人により憲兵隊に通知があっただけなのは頗る遺憾である

（七）戸田巡査が口腔に治療一週間の負傷をしたと發表してゐるが當方調査外ではあるが兵士は全然暴行をしてゐないし當時憲兵が行った際も巡査は兵士の負傷は認めたが自分のことは何ら述べず負傷をした樣子もなかった

新聞紙上に揭載された警察側のいひ分卽ち「一兵士一巡査間の偶發的事故」といふが如きものでなく、皇軍組成の一分子に對する警察官の不法暴行事件で、皇軍威信に關する重大問題として既に警察部側に或る種の意思表示をなし、肚も決ってゐるがいま言明の時期でない

府警察部聲明書

事こゝに至った事はまことに遺憾千萬だが、傳へられる軍部側の發表と當方の調査との間には相當の開きのあることを明言する、事件はかうだ——十七日午前十一時半ごろの出來事であるが、天六交叉點で一兵士がストップ信號を無視し、しかも步道でなく車道を橫斷しかけたので戸田巡査がメガホンで注意したところ聞えたのか否か制止を無視し行き過ぎやうとするので近寄り「いかんぢやないか」と重ねて注意したところが、兵士は「何だ巡査が生意氣ないふな」といひざまさらに橫斷しようとするので「今いうてるのにまだきかぬ、困るな」ととがめた、その時兵士は「おれは憲兵のいふことはきくが警官のいふことはきく必要がない」「何そんなことがあるものか、派出所へ來い」「いかぬ」で押問答となり兵士が應ぜぬので脊を押して行ったところ、附近の人々が「兵隊をそんなことするな」といふので手を離して派出所內に入り公廨で說諭するのはいかぬと奥の休憩室のドアを開けかけたところ兵士の方が突然巡査の顎を毆ったので遂に格鬪となり雙方掴み合ひのピストン行爲をおっぱじめた、そのため巡査も洋服の釦が千切れたほどである、かくするうち憲兵が來て連れ歸り今日に及んだものである、事實はそれのみで當の巡査の陳述や監察官が八方調べた外證も大體一致してゐる——そも〳〵兵士といへども街頭を一個人として步いてゐる以上交通整理に從ふのは當然で「憲兵のいふことでなければきかぬ」といふ態度は失當である、この制止をきかぬものを派出所で說諭するのは極めて當然で、そのため皇軍を侮辱したなどの考へは毛頭あるはずがない、派出所內の格鬪も認めるが斷じて巡査の一方的行動とは認めぬ、巡査も明かに一週間の打撲傷を負うてゐる、しかしたとひ事情の如何に拘らず毆った點は許し難くこれは近く懲戒處分に附する方針だが、派出所に入るまでの巡査の執った行動は大體是認する、軍人と警官が毆り合ひをした點は實に遺憾だが軍隊が帝國の軍隊なら警官も帝國の警官でその職務として任務を負擔してゐる點に些の輕重はない、共に〳〵國家の重大……あげられたといふ七箇の點について一々反駁の必要を認めぬが府側としてはあくまで所信を曲げるものではない、しかもかうした對立めいた狀況に立至ったことについては衷心遺憾に堪へない

遠征早大軍快勝

來連中の早稻田大學對滿鐵の硬球試合は二十四日午後四時より中央公園滿鐵テニス・コートにおいて擧行したが滿鐵振はず三對零でダブルスに全敗した

早大		滿鐵
山崗・吉川	6—1 6—2	太田・小寺

第一セット古田氏ノサービスにてプレー滿鐵續けて2—1と好調なスタートを切るも早大の見事なコンビネーションで騰々ファインプレーを演じ遂に第一セットは早大側得る、第二セットも早大組依然好調スマッシングにボレー二得點を重ね一ゲームを與へしのみで勝つスコアーは甚だ簡單なるも一球一打手に汗を握る近來にない白熱的試合であった

早大		滿鐵
保田・渡邊	6—3 6—4	伊藤・吉田
桑內・柴澤	6—0 6—4	阿部・落合

エキジビションゲーム

早大		滿鐵
鳥羽（早大）	3—6 3—6	太田（滿鐵）

河童待望の 天幕列車動く
愈々七月二日から

滿鐵々道部ではさきに夏家河子行海水浴客のため總額五萬圓を以て天幕列車を作り旅客輸送にあてることゝなつたがその後海水浴場の設備も整備し浴客の來場を待つばかりになったのでいよ〳〵恒例により七月二日から臨時列車を運轉するが、その時刻および運轉日は左の如くである、なほ臨時列車は全部天幕列車を使用しその結果旅客運賃は例年の大連夏家河子間往復三十錢（子供半額）を更に二十錢（子供半額）に割引することゝなった

臨時列車（下り）　大連發　沙河口發　夏家河子着

▲七時廿分　七時卅分　七時五十七分（運轉日　七月二十三日、三十日、八月六日、十三日、廿日）

▲八時卅分　八時四十分　九時七分（運轉日　七月九日、十六日、以下八月末日までの各日曜日および九月一日、三日）

▲十時〇分　十時十分　十時四一分

▲十一時卅分　十一時四十分　十二時八分

▲十三時廿分　十三時卅分　十三時五六分（以上運轉日　七月十六日より八月末日までの各日曜および九月一日）

▲十五時廿分　十五時卅分　十六時六分（運轉日　七月十六日から八月末日まで毎日曜および九月一日）

▲十七時廿分　十七時五十七分　大時七分（運轉日　七月九日から八月末日まで毎日曜及び九月三日）

▲十七時二五分　十七時卅六分　十八時七分（運轉日　七月二日、十六日および廿三日以後九月二日まで連日）

▲十九時〇分　十九時十分　十九時四十分（運轉日　七月十日から九月二日まで連日）

大連行列車（上り）　夏家河子發　沙河口着　大連着

▲十時四十分　十時五十七分　十一時七分（運轉日　七月二日、九日、十六日の各日曜および二十三日から九月三日まで連日運轉）

▲十三時三十五分　十四時廿分　十四時卅分

滿電沙河口營業所奉仕週間

滿電沙河口營業所にては需要家サービスの一端として來る二十六日より七月二日に至る一週間需要家のアイロンと電氣扇の修理無料奉仕週間を開催し、期間中の申込に對し修理、油差等無料扱として奉仕する

松岡氏が携帶した通帳發見

【奉天電話】賊團を擊退人質十一名を奪還救助し戎克六隻、彈丸七十七發を鹵獲した鑛海號はその際匪團に拉致されてゐる松岡壽吉（三〇）の携帶せる通帳一冊を發見した松岡は熊本縣人、營口新市街彌生町に居住してゐるもので生命は今のところ安全らしい

滿鐵弓道大會

滿鐵全線弓道大會は二十五日午前九時より滿鐵本社裏の弓道部道場で全線各道場の代表廿一團體（一組五名）參加の下に開催されるが一般の參觀を歡迎すると、なほ昨年度は時局のため中止したので本年度もいづれが優勝するか全く豫想つかず多大の興味を呼んでゐる

けふの天氣 午後は大丈夫

熱狂裡の實滿戰を控へて今廿五日の天氣は？前夜八時暴風警報が發せられたが、まづ曇るだけで午後は大丈夫だらうとの觀測所からのファンにとつては嬉しい便りである

奧地團體の輸送打合せ

鐵路總局では大連博覽會開催中の滿洲奧地團體旅客の輸送につき根本方針を樹て滿鐵々道部と充分の打合せをするため旅客科長足立長三氏は廿四日來連鐵道部および博覽會當事者と種々打合せするところあった

けふのスポーツ

▲早大對滿鐵硬球試合　午前九時より中央公園テニスコートにて

▲市民射擊大會　午前八時より春日池射場に於て

▲實滿第四回戰　午後二時半より實業球場に於て

暴風警報

廿四日午後八時南滿洲附近を警戒す（關東廳觀測所發表）

安樂椅子

原田署長の後任として本溪湖から沙河口署長に着任した牧田太猪造警部、わたしや何分山出しでれエ……と何事を問はれても微笑に答へをまぎらし、なかなか顏のよいところを見せてゐたが二十三日の臨時競馬第一日の午後、谷川保安主任、中島高等主任の案內でナッシュの車を競馬場に飛ばし第一回の競馬視察に赴いたが……

……◇……

競馬方法から、所謂アナ、ガラ等の熱語について谷川保安主任の說明をうけ、熱心に馬のかけつくらを眺めてゐたが、馬券賣場に殺到するファンの群をながめて、牧田署長感嘆して曰く…「…アーア、大連人の馬事思想はずゐぶん發達してゐるネエ。」

……◇……

競馬思想と云はず、敢て馬事思想と云つたところ、牧田署長の頭のよさが感へよう。

颱風圏内 (34)

畑耕一作
山田喜作畫

六本指の男 (二)

「おい〳〵、それじや、小宮君が僕を撃つことになるぜ。僕を楯にしてどうする?」

勁三は笑つた。

「親分、小宮さんを、どうぞ」

銀次は、むしろ悲鳴をあげてゐるやうだつた。

「はゝゝ。小宮君、もう許してやりたまへ。銀次は裏切りなんてする奴じやない。そんなことのできる男じやない。僕は信用してゐるんだよ」

「あんたがさういふなら、裏切者の點は許してやるが、おれに、復讐ができんなんてぬかすから」

「いや、出來んといつたんじやねえ。天岸は、相手としては、なかなか手剛いといつたんですよ」

「きつと復讐してやるんだ。おれは織江を取返さなくちやならない。そして織江を、おれの役に立つ女に仕立てあげなきやならないのだ」

小宮は、ポケットから手を出して、煙草を吸ひはじめた。

やつと安心して、銀次は椅子に戻つたが

「いや、驚いた。小宮さんにやあ滅多な口を利けねえ。——ほんとうに、小宮さんは恐ろしい。僕だつて、大抵のことにやあ動じねえ男なんだが、小宮さんはどうにも恐ろしい。あの、横濱の大仕事の時にも、親分は、非常線を突破するにやあ、空砲を撃てつて仰しやつたのに、小宮さんだけは、實彈をボカ〳〵撃つんだからなあ」

「おれは、嚇しにピストルを撃つことは嫌ひだ。撃つ以上は、そいつで相手を斃さなくちやあ面白くない」

「さうら、それだから恐ろしい」

大仰な身振りで、銀次は首を縮めた。

「一々、變な恰好でものを言ふ。煩さい男だな」

「や、また叱られた。こりやあ僕のむかしの商賣が癖になつてゐるんだから、まあさう一々咎めないでください」

勁三は笑つたが

「小宮君、銀次はもと活動の役者をしてゐた男なんでね。ほんとうにそれは癖なんだよ。氣にしないでやつてくれたまへ。——うむ、そんな男だけに、なかなか物眞似がうまい。いつかも天岸の扮裝をして、すつかり天岸氣取りに、仕事をやつたことがあつたよ」

「その歸途ですよ。忽ち天岸にとつちめられて、アッパア・カットを喰つたのは。——先刻お話したでせう」と、銀公は、またそろ〳〵身振り入りで「こつちが身をかはす暇もねえ。グワン!と、一つでノック・アウトさ。いや、天岸つて男は、敵ながら偉い」

「今に、その天岸をやつつけてしまふ。天岸は高栖さんに飽くまで挑戰するといつたさうだ。おれが復讐することは、また高栖さんのこれからの仕事を安全にさせる譯にもなる。お前はずつと天岸の動靜を探るんだらう。おれにも、一々知らせてくれ。一日も早くやつつけてしまひたい」

「ようがす。きつとお知らせしやす」

銀次はポンと胸を敲いた。

勁三は、ちよつとなにか考へてゐるやうだつたが

「しかし、小宮君、復讐といふのはどの程度なんかね?」

「どの程度?わしの復讐に程度はありませんよ。たゞ一つの方法と結果があるだけですよ」

ギロッと強く、小宮の眼は光つた。

「たゞ一つ——の——?」

「奴を鏖してしまふのです。そして、息の根をとめてやるんです!そして、ゆつくり織江を探し出すんです」

滿日特選碁戰

第廿三回　先相先先番　四段 向井一男　三段 渡邊英夫

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

—【4】—

●六一ヌの五　○六二への七
●六三への六　○六四ヌの六
●六五リの六　○六六ルの五
●六七ルの四　○六八リの五
●六九ヌの四　○七〇トの六
●七一リの七　○七二トの八
●七三トの五　○七四への五
●七五ホの六　○七六チの五
●七七トの四　○七八チの六
●七九ルの六　○八〇ヌの七

對局者の感想

黒曰く　黒六十五は白の手段に乘ぜられた氣味でした(ルの五)にのびて置くべきでした
白曰く　白七十二までとなつては面白いと思ひました
黒曰く　黒七十九は輕率でした、(ワの四)に打つて置けば無事でした

新刊紹介

▲支那貨幣史錢莊攷(廣畑茂著)　滿洲が日本の生命線なら、支那全體が日本の生命線だ。日本の經濟は良きにつけ惡しきにつけ寸時も支那を閑却する事は出來ぬ。所が、支那の貨幣なるものは實に複雜を極めて、內外各種の貨幣が錯雜して適用し其間に時々刻々相場の變動があるのだから、支那に住む者、支那と賣買關係を有するものは寸時と雖も此の貨幣の變動を看過してはならぬ、成功と失敗とは商機を見るよりも貨幣の變動を見るの巧拙によりて定まる、著者は十數年支那に住し、前には實業に從事し後には操觚界に在りて親しくその實狀を見、貨幣變動の爲めに大失敗したもの、大成功したものなどを見るに及びて慨然として此一書を著はした、蓋し在支邦人の爲めにする親切心の發露である、此書は此主旨で作られ痒い所に手が屆くやうに周到の用意を以て編せられてゐる、先づ硬貨と紙幣との歷史から說き始め現代貨幣に及びては、硬貨、流入銀元、補助銀貨、銅元、制錢、金貨、銀兩上海爐、公估局、最近の廢兩改元問題、海關金單位、造幣機關兌換券、兌換停止の地方銀行、外支合辦銀行の兌換券、在支外國銀行の兌換券、滿洲の金融、山西票莊、上海の錢莊、標金取引所、天津銀號の商習慣、支那の國內爲替などの各章に渉つて極めて詳細にその制度から實際の有樣を記述してある、尙古代から現時に至るまでの硬貨、紙幣を一々寫眞にして卷頭に附けてある、實に親切を極めたもので支那と聊かにても關係あるものは座右に缺く可らざる好著である、吾々は著者の勞を多とせざるを得ない(發行所東京市牛込區揚場町八番地建設社定價金三圓五十錢)

柳壇

眠　編輯局選

大連　大谷　融
狸寢はお菓子の聲に飛んで起き
鄭家店　山邊　敏雄
居眠りの父へこより叱られる
鞍山　板倉　夢靜
すや〳〵と寢る子の顏は神のやう
旅順　鷲津　可憐
そろ〳〵と暑さがさそふ机前
新京　八木　數次
居眠りの女中へ番頭髭をかき
もう寢なと起せば女中襷がけ
大連　渡邊　雨明
麻雀の疲れ翌日ペンが落ち
眠れない通夜の義理へ生欠伸
氣持よく居眠りいつか口が開き
大連　刀根　春陽
よく眠りましてと朝の箸を割り
支那宿痒ゆい氣がして眠られず
先驅車といふへ家內眠られず
撫順　安永　正
叱られて泣きつかれたる子の鼾
山海關　松尾小女郎
洗面へまだ眠さうな顏が寄り
眠つてる騎兵は馬の背で進み
狸寢は二次會さける下ごゝろ
山海關　佐野　天橋
末つ子を起して泣かす旅歸り
大連　森　枝折
腕白は頭半分眠てそらせ
子守唄とぎれとぎれで眠て仕舞ひ
居眠りに慣れた姿勢で氣疲れす
金州　後藤　十九
美人てふ眠つた顏へ蠅がとめ
大連　池田　東
居眠りをして事がすむ課長なり
大連　尾道九十八
眠る子に戰功をとく未亡人
眠り猫あれか〳〵と口をあけ
旅順　森　東岳坊
初戀の夢に破れて眠られず
眠い子と共に起床の深呼吸
ヒステリー夫の夜會へ眠られず
眠りから醒めて昨夜の事を恥ぢ
大連　熱　土浦
狸寢の歸りしたき節もあり
鐵嶺　横溝　泰山
うたゝ寢の毛布にこもる親心
大連　下元兎喜雄
顏の寸ちと伸びてゐるいゝ寢顏
大連　和田　一哉
當直員假睡破らる非常ベル
大石橋　小宮　茂二
交番の居眠りを見る午下り
煙臺　井上　靑龍
苦力等の晝寢ラカンのやうな顏
大連　兒　玉生
欠伸して島の娘が唄はれる

けふの放送

大連 JQAK　六月廿五日

▲午前六時ラヂオ體操第二 ▲午前六時三十分ラヂオ體操第一 ▲午前十時新譜レコード(ビクター、コロムビヤ、ポリドール) ▲午前十一時五十分講演(新京より)「滿洲國の民政一般」滿洲國民政部總務司長竹內德亥、ニュース ▲午後二時二十分 野球試合實況(實業對滿俱第四回戰實業球場より)ニュース ▲午後六時(母の日の夕) ▲ニュース ▲挨拶(六時三十分)奥田千代子 ▲講演「母性愛」西內駒路 ▲唱歌(一)うちのこれこ(二)小馬 大連伏見臺小學校二年生柳町瑛子、安藤美年子、新帶米子、騎西絹子、河內美枝子、長谷眞理 伴奏大野先生 ▲獨唱(一)ママサンの誕生日(二)雨ふり、三年生藤田祐子、伴奏 波多江先生 ▲劇「扇の的」地の文(百竹英夫)義經(林聰)畠山(木全純一)熊谷(西巻十四生)平山(栗原寬太郎)土肥(本村卓)和田(近松洋治)佐々木(垣田薫明)余一(飯野恭)その他家來(矢野達雄)(今西喜久雄)(能登輝彦)指揮、志水英雄先生 ▲感想「母を語る」大連神明高等女學校石橋しのぶ、大連羽衣高等女學校關塚かつ子、大連彌生高等女學校小野てる、大連技藝女學校管野滿子、大連女子商業學校東きぬ ▲ラヂオドラマ「燒野の雉子」原作西峰明子、滿洲女性會研究部員遊女楓(水島玲子)其の母と女(澤見滿)武家原進之丞(伊志井正春)効果(遠藤輝子)指揮(西峰明子) ▲映畫物語「瞼の母」日活館藤原愛 ▲ニュース ▲氣象通報

東京 JOAK　六月二十五日

▲講演(六時三十分)西田直二郎 ▲浪花節(六時五十五分)「俠客辨天の傳吉」一心亭辰雄 ▲哥澤(七時三十分)新曲「夜の雨」長田幹彥作詞、哥澤芝金作曲、哥澤芝金社中 ▲連續講談(七時五十分)「國定忠次終席」西尾麟慶

イギリスの動物園

童話 鼠の淨土

みどり・れう子

深い森の中です、與一爺さんは木をきつてゐました、こつうん、こつうんと氣持よいまさかりの音が谷をこえて、林を渡つて向ふのお山に響いてゐました

「ああ、もうおひるだな」

お爺さんは、にこ〳〵しながら、お辨當包のひもをときました、おいしさうな、おだんごがどつさりはいつてゐます、お爺さんは一つを高くつまみ上げ、ぽいとお口になげこみ、それからもう一つ、つまみました、ふと見ると見たこともない、大へん美しい小鳥がじつと木の上からお爺さんを見てゐました

お爺さんはもう一つおだんごを口に入れました

「お爺さん、だんご、たべた、あたしのごちごくん」

と、かわいらしい聲で小鳥がなきました、お爺さんはびつくりしました

お爺さんは又好きなおだんごを一度に二つも口に入れました、すると又前のやうに小鳥がなきました

「お前もこれが、くひたいか」

お爺さんはだんごを一つ投げてやりました、食べ終ると又ポンと一つ投げました、その中におだんごもなくなつてしまひました

×　×

仕事に取りかゝらうとお爺さんが立ち上ると美しい女の人が現れて

「先程は眞に有難うございました實は私はさつきの小鳥なんです、そのお禮にいゝ處につれていつて上げたいとお迎へに參つたのです さあ私がおんぶいたします」

小鳥の女はくるりと背を向けました、お爺さんがどんなにことわつてもどうしてもききません

「さあ、目をつぶつて……よいと云ふまでは決して開けてはいけませんよ、いゝですか」

×　×

「こゝは何と云ふ處ですか」

小鳥の女はニコ〳〵しながら

「こゝは「鼠の淨土」と云ふ處です、鼠の米搗を見せて上げませう」

と案內されてゆきますと、そこでは

「今年作がようて猫の音きこえない、きこえない、すたたんこ、たんこ、たんこ」

掛聲にぎやかに、鼠たちは米を搗いてゐました、お爺さんは時のたつのも忘れて見されてなりましたが

「山に仕事も殘してありますから、もうこれで、歸らしていただきます」

といふと小鳥は

「それは大へんお名殘おしいことです、これはほんのお禮のしるしですが」

と山程のお金をくれました、お爺さんは何度もお禮を云つて又小鳥におんぶされてかへりました

×　×

お爺さんが眼をあいた時には、もう元の仕事場に來てゐました、そしてそこにはお金を入れた袋がありました、お爺さんはすつかり嬉しくなつて薪束をかつぎ、大事にお金の袋を抱へて山を下りました

×　×

おぢいさんはその日山であつた出來事をすつかりお婆さんに話しました

隣の慾深婆さんがそれを聞きつけて飛んで來ました

そしてその翌日慾深婆さんはおいしいおだんごをこしらへて鐵吉爺さんに渡しながら

「きれいな鳥がきたら、だんごをやるんだよ、そして鼠の淨土に行つておさなりよりもつと澤山お金を貰つて歸るんだよ」

といひました

×　×

鐵吉爺さんは山に行つてごろりと橫になつてお晝の來るのを待つてゐました

お婆さんが言つた通り、お爺さんが辨當を開くと小鳥が飛んで來て木にとまりました

「これだな!」お爺さんは一つ投げてやりました、それを食べ終ると小鳥は次を待つて居ります

「チエッ、欲張りナ」

とお爺さんはいや〳〵又投げてやりました、する中にだんごもなくなりました

「今度はきれいな女が來る番だ」

小鳥の女を見つけるなり飛んで行つて

「あなたは私のだんごを御馳走になつたでせう、お禮に鼠の淨土に連れてつておくれ」

とせきたてました

「では眼をつぶつて、開けてはいけませんよ」

やつと鼠の淨土につきました、それから鼠の米搗を見せて貰ひました

今年作がようて猫の音
きこえないきこえない
すたたんこ、たんこ、たんこ

お爺さんは、いたづらがしたくなつて「ニヤアオー」と猫のまねをしました、鼠たちが驚くので、お爺さんはいい氣になつて前より一そう大きな聲で「ニヤアオー」と猫のまねをしました

「大變だ!」鼠たちは一度にどこかへ逃げちまひました

「ウアツ、ハツハツハ」

お爺さんが氣がついた時はたゞ一人薄暗い鼠の穴の中に殘されてゐました、そして乞食の樣なみじめな姿でお爺さんはやつと暗い鼠の穴から這ひ出して歸つて行きました

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

地理

(1) 臺灣の海岸の樣子を說明しなさい。
東岸
西岸

(2) 臺灣にはどんな農產物が出來ますか。

(3) 臺灣の鑛產物とその產地をかきなさい。

(4) 臺灣の略圖をかいて次の都邑を記入しなさい。
基隆、臺北、花蓮港、高雄、嘉義

(5) 朝鮮の略圖を描いて良港五つ記入しなさい。

(6) 朝鮮の特產物は何ですか。どのあたりから出ますか。何に用ひますか。

(7) 朝鮮に於ける主なる鐵道の線路名と其の各々起終點をかきなさい。

(8) 次の都邑はどこにあつて何故名高いのですか。
イ、平壤
ロ、大邱
ハ、新義州

前週の答 國語

(一)(1) 裁判の目的
平和な秩序正しい世の中にする

(2) せつかくの法律もねうちがなくなり、我々は安心して生活することが出來ぬ。

(3) 人々相互の爭がはてしなく行はれて、しかも其の爭は力の強い者やわるがしこい者が勝つことになるであらう。

(4)「裁判の」「人々相互の」

(二)(1) 北陸地方の雪

(2) 多くの大將をくばりおいてふさぎそなへの用意が少しの油斷もない。

(3) 人々相互の間の訴訟の裁判をいふ。

(4) その場ですぐに斬倒されました。

(5) 鳥がかはつてき、海はくるり〳〵と廻つてどこまでゆけばなくなるかわからない。

(三)(イ) 春は島にある山がかすみに包まれて眠つてゐるやうにぼんやりしてゐるやうであり夏は山や海が鮮綠であつて目がさめる程はつきりしてゐます、兩方の岸や島々は見渡す限り田畑がよく開けて毛布を敷いたやうで、白かべの家が其の間にちらばつてゐる。

(ロ) 正國はしめたぞと力を入れた足をふん張つてひつくりかへさうとしたが、ふみそこれて、も少しで谷底へ轉び落ちさうになつた。

(四)(イ) おもしろみ、あぢはひ
(ロ) やうす、けはひ
(ハ) めんしてゐる
(ニ) お出でになりました

(五) 征伐、伐採、競爭、競技、興味、餘興、監督、總督、犯人、犯罪

こどもの考へ物 第五十二回

これはおほきい煙管だなア ほんとうかしら

これはまた、大きいキセルですれ ほんとうにさうなのでせうか、今度は一寸むづかしいので考へ物の上手な皆さんもわかりますまい、わかつたら來る七月二日までに大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてにハガキでお答へください、正解者にはいつものやうにして二十名に限りご褒美を差あげます

第五十回の答 カサです

第五十回の考へものはカラカサを柄の方から寫眞にとつたものでしたが相變らず正解者が多いので籤をひいて今度は左記の人々にご褒美をあげるとにいたしましたから大連市內の方は本社から差上げるハガキと引替に新聞社でお受けとりください、沿線の方には直接お送りしますから樂しみにおまちください

當籤者

▲風石山內川源司▲金州寺島克巳▲營平高地公治▲公主嶺橫尾榮子▲瓦房店高木豐▲奉天依田誠▲旅順村尾文子▲大連大島たへ▲同兒島チエ子▲同久保高治▲同山下降治▲同清水章子▲同武田みよ▲同山下トシ子▲同加藤米子▲同北川芳子▲同中城保子▲同林行雄▲同山賀久夫▲同檜崎美津子

當籤者の方は今森永製菓で「キャラメル藝術」を募集してゐますから、その材料にご褒美の中にあるミルクキャラメルの空箱を使つてください、皆さんが應募した作品はお金にかへて傷痍軍人會に寄附されることになつてゐます、作り方は「ベルトライン」と書いた看板を出してゐるお菓子屋さんで敎へてくれます。

世界一小さい銅貨 直徑が四分の一インチ

印度マドラスのトラヴイアンコル州といふ所に通用してゐる銅貨は恐らく世界中で一番小さいだらうといふ噂です、直徑が僅かに四分の一吋だからその小さゝも想像出來ます。それでも貝殻に太陽といふこの州の紋章がついてゐるといふからたいしたものです

飛行機の競爭

おばあさんと孫が

あと四年で七十のお祝ひでもしやうといふおばあさんと十三歲になつたばかりの孫が、飛行術の練習をはじめ、二人ともすつかり上達して競爭をやつたといふまるでウソのやうなほんとうのお話がイギリスのロンドンにあります

おばあさんはロンドン市の郊外に住んでゐてストラウドさんといひ息子が飛行家なので、初めのうちは息子の飛行振を見て大へんよろこんでゐましたが、さう〳〵愉快さうなのに我慢がしきれないで、息子にせがんで飛行術をならひ立派に一人乘りが出來るやうになりました

ところが、おばあさんの可愛い十三になる孫の坊ちやんも「ナーニおばあさんに出來ることなら僕に出來ないことはない」とお父さんにこれまたお願ひして練習をつみ一人前の飛行家になり、ついこのごろイギリスで一ばん年寄と一ばん年若の飛行家が競爭をしましたが、二人ともうらみつこなしの同點だつたさうです

夏の夜にかゞやく　美しい星の研究

皆さんの一番知りたい星は　さて！何でせうか

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「一ばん星みーつけた、二ばん星みーつけた」……と皆さんは夏の夜、お風呂からあがつて、夕涼みに出たとき、よくお空を仰いでお星樣を探しますね、そのお星樣はだん／＼暗くなるにつれて多くなつて、やがてお空一ぱいに、まるで砂をまいたやうにまきちらされて、紅、青、橙、黄、白、紫などのいろいろな色に輝き、その中に薄い白雲のやうな天の河が横はり、ときどきあちら、こちらで星が流れます、ほんとうに私達の見るお空は嚴かで美しいものです、けふは皆さんが一ばん知りたさうな、夏の星の主なものについて面白いお話をいたしますから、よく讀んで、こゝに出してある圖を先生にして自分で探してごらんなさい

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

太陽が西に沈んであたりが次第に暗くなつてゆくに從つて、まづ誰の眼にもうつるものは中天から少し南西にくだつたところに輝いてゐる二つの星でせう。この星は「遊星」といはれてゐます。この遊星の西側に白く大きく輝いてゐるのを「木星」といひ、またその東に赤く輝いてゐるのを「火星」といひます。この遊星、木星、火星の三つは皆違つた光り方をしてゐるもので、これをぢつと眺めてゐると、その光度の見事さがたまらなくなるくらゐです。

悲しい物語の『七つの星』

次に眼を中央に向けると、有名な「北斗七星」が見えます、北の空の星としては王座に位してゐるもので、學名では「大熊星座」と呼ばれ、また「七つの星」とか「ダビデの車」ともいはれてゐまして七つの星が曲りくねつた並び方をし、恰度杓子のやうな形をしてをります。

☆……☆

この北斗七星には哀れな神話が傳へられてゐます。この神話によるとこの星は美しい海の女神カリストの變り果てた姿だといふのです、むかし、この女神カリストは大へん美しかつたので、大王ヂユピターに可愛がられてをりました。ところが大王の妃ヂユノーがこれを知ると大へん嫉んで、その怒りがあまりに大きかつたためにカリストを黒熊に變へてしまつたのです妃はそれでもまだ承知が出來なかつたためか、揚句の果にとうとう北の空に追ひやつてしまつたといふのです。その結果寂しい北の星に慰ひのない悲しい運命を永くつゞけてゐるのだといはれてゐます。

眼の試驗星『ミザー』

北斗七星の話を續けませう…北斗七星の杓子の柄の部分で終りから二番目の星は「ミザー」と呼ばれてゐます。すぐ傍に「アルコール」といふ五等星を連れてゐる子供連れの星です、この星は昔から有名な星ですが、相當眼のよい人でなくてはちよつと判りにくい樣ですそのため古代アラビア人は「サイダック」と呼んでゐました。「サイダック」といふのは「試驗」といふ意味で、つまり視力の檢定のために用ひられたところから出た言葉のやうです。

大熊の子の　小熊座

今度は杓子の反對側に行つてみます。外側の二つの星を杓子の底から結び、その線を延長すると今の二つの星の距離の約五倍のところに一つ輝いてゐる二等星がありますこれが「北極星」でありますこの北極星は他のいくつかの星と共に「小熊座」を形づくつて、何時も大熊座と反對の位置を占めてをります。神話に依ると、小熊座は大熊座となつた女神カリストの息子で、母の悲しい運命を受けついで、やはり地下に沒する憩ひのない悲しみを續けてゐるといふ哀れな星です。

お姫さまの　星の冠

それから元にもどつて、大熊のすぐ南にあるのが牛飼のアルクチュルスといひ赤味を帶びた星です、牛飼座の東に見えるのが北の冠で七つの星が美しく冠型に並んでゐて、光りはあまり強くないやうですが見慣れるとひきつけられるやうな美しい星です。この星にも神話があつて、この冠は美しいアリアドネ姫が用ひた星の冠であるといひ傳へられてをります。

夏の空の　女王樣

牛飼座から南へ下ると赤道上に乙女座の「スピカ」といふ星が光つてゐます。春から夏へかけて天空の女王樣のやうに銀のやうな輝きをみせその名にふさはしい愛らしい星です、八月になると火星がだん／＼とこのあたりに近づいて來て一段とその美しさを增してゆきます。

お星樣の見方　闇くて高い處がよい

一、星を見るときには、はじめには圖と引きくらべること、なるべく懷中電燈を用意して圖を見るときは照し、お空を見るときには消します

一、方向や角度をきめるには古いハガキを一枚持つてゐて、それを空にあてがつて見ると一層わかりやすいものです

一、星を見るときには、なるべく闇い、そして高いところがよいのです

一、夏でも滿洲の夜は冷えますから星を見るのに夢中になつて風邪をひかぬやうに注意してください

銀の砂をまいた樣に　キラキラ光る『天の河』　物語に富んだ星のかず／＼

盛夏が過ぎて都會の塵を遠ざかり夏の宵の散歩道にみる天上はまた美しいものです、銀の砂をあつめたやうな藝術的作品？といひませうか、あの美しい、すぐ手にとられるやうにも感ぜられる星の集まりが、みなさんの知つてゐるやうに「天の河」です、この天の河を西洋人は道路とみてゐますが、東洋では河とみてをります。天文學者の研究によりますと、この天の河こそ宇宙の主體であり、その廣さは宇宙の廣さであるとのことです、かういふ美しさを持つてゐるものですから、地上でも天の河に對していろ／＼な「感激」の催しが行はれます、內地の田舍で盛んに行はれる舊曆七月七日の七夕祭りがそれです

☆☆☆七夕祭☆☆☆

七夕のいひ傳へは、もと支那から傳へたものです、昔、支那では、天空を一つの國と思つて、星はそこに住む人で、地上の國のやうにいろ／＼の位があるといふことになつてゐたのです、その國王に織女といふ一人の娘がありました、天の河の西に居て、身のまはりなどかまはず、毎日王樣の衣にする布の機織りにせい出してをりましたが、王樣は織女がひとりでゐるのをあはれに思つて、河の東にゐる牽牛といふ人のお嫁さんにやりました、ところが、それからといふものは、織女が機織りをやめてしまつたので、王樣は腹をたて、織女を河の西に歸してしまひ、年に一度七月七日の夕だけ河を渡つて牽牛にあひにゆくことを許しました、もしその日雨が降り、水かさが增して河が渡れませんと、澤山のかさゝぎがやつて來て橋をつくり、織女を渡してやりました。二つの星は今でもさうしてあつてゐるといふのです、七夕祭は織女がよく機を織るといふところからこの星夫婦を祭つて、女の子が機を織りその他お裁縫やお習字などが上手になるやうにお祈りするので、この風習はよほど昔からあつたやうです。

☆……☆

天の河の中流上天に目につくものを「白鳥座」といひます、これは「北の十字架」といふ異名もあつて、この星座を形造つてゐる主星が十字型に排列されてあつて見事なものです、白鳥座のすぐ西には「琴座」といふのがあります、この座の主星を「ヴエガ」といつて東洋では「織女」と呼ばれ、前にお話した七夕の星の一つでありますこれにも一つの悲しい神話が織り込まれてゐます、その神話といふのは琴の名手オルフエウスが死んだ妻をたづねてはる／＼冥土へゆき、大王プルートーに願つて妻をかへして貰ひました、妻をかへして貰つた嬉しさに心を躍らせながら歸路につきました、ところが、あまりに嬉しかつたためか大王に誓ひをたてたことも打ち忘れてしまひ、後を振り返つたばかりに美しい妻を再び冥土へ取り戻されたといふのです。琴座から天の河を渡つて南の灘に鷲座があります、七夕の星牽牛はこの座の主星で「アルタイル」といふ名前がつけられてあり、織女のヴエガと共に中空に見事に光つてゐます。

南の空に輝く　蠍と射手

天の河をずつと南の方の地平線近くに大へんよく光つた一群の星の集まりが眼につきます、蠍と射手の兩星座で殊に蠍座の「アンタレス」といふ星は夏の天になくてはならぬ赤々と燃え上つた星で、天界四つ星の一つに數へられ、南の空に力強く輝いてゐます。

七夕まつり

滿洲で七夕まつりといへば大へんめづらしいことですが、日本內地では舊の七月七日には慣例のやうにして盛んなお祭りが行はれます

世界の大天文學者ふたり

アメリカのウイルソン山天文臺にある世界一の反射望遠鏡のうへでお話してゐるイギリスの大天文學者ジーンス（左）とアメリカの大天文學者アダムス天文臺長です

北　東　西　南　地平線　北極星　小熊　大熊　獅子　龍　ケフエウス　カシオペア　アンドロメダ　牛飼　冠　琴　ヘルクレス　白鳥　乙女　海豚　蛇　蛇遣ひ　ペガスス　魚　水瓶　山羊　鷲　天秤　海蛇　射手　蠍　狼　祭壇

この圖の使ひ方

この圖は夏の星座です、まはりが地平線ですからこの圖を見るときには圖の北を、お空のほんとうの北にあはせて頭のうへにかざして見ますとよく星の在り場所がわかります、星と星とのへだたりは圖のやうにキチンとしてわかりやすくなく、もつと／＼大きいのですからそのつもりで好きなお星樣を探してください。

夏は濱風

波の媚態

ゆつたりと磯を洗ふ波、飛沫を飛ばして岡を嚙む波、夏の海は、幾つかの蠱惑的な媚態を人々に見せつける、そして海に足を入れると、ユラ〳〵と影をくずして海は微笑む、人呼ぶ夏の海の聲は強い

海の喜び

海が呼んでゐる、遠い涯の彼方から海の精が彼等を、彼女等を呼ぶ、漁夫は元氣を帆に孕ませて沖へ向ひ、また喜びを腕に傳へて岸に綱を曳く、そして彼女達は、躍動する夏の官能をビーチ・パジヤマに包んで、海邊に輕いステップを踏む

海の魔術

海に入ると誰でも童心を呼び起こされる、お髭の生えたおぢさんも、すますことのお上手な令孃も、海に入ると一度は子供に歸る、さうして戯れかゝつた水に、地震にでもあつたやうな叫びをあげてゐる、海は巧な魔術使ひだ。

陽に咲く花

ビーチ・ラソルは夏の陽に咲いた花だ、海に開いた不思議な花だ、向日葵のやうに日輪を追うてクルリと廻ると思へば、憎らしく、海の女王をすツとその蔭にかくしてしまふ

海の隼

モーター・ボートは海の隼、舳に切る五百重の波は、恰度海を耕すやうな壯快さ、刺戟的な夢と冒險を乘せるそのスピード・モーターボートは夏の海に[illegible]共鳴する海の隼だ

桃色の太陽

カッと照りつける夏の太陽、あらはな背中に直角にさゝる光りの矢……本當に健康的でございますワ……とつゝましやかな奥様はいふかも知れない、がこの四人の彼女達の語らひは、淡桃色に香高い青春の夢[illegible]

オゾーン

空も海も一つに緑の中に、すつきり立つた飛び臺のやぐら、ぐつと胸を張つて思ひきり手足を伸ばせば、オゾーンに富んだ海の空氣が心地よく咽喉を通る飛躍！こゝに潑剌たる夏の女性の姿を見る……

夢の宿

海邊に張られた紅白の小型キヤムプ・何となく異國の海邊を思はせてゐるが・たしかに海水浴場を美しく飾る一點景だ・海に親しんでゐることを誇りつゝも日やけをきらふお孃さん達は・こゝを濱夏の夢の宿としてゐるのだ

けふのモデル
東亞會館ダンサー
小林八重子
山野みどり
田所しづえ
齋藤あさ子

海水浴用品
大連浪華洋行提供

落語 野球ファン

夢想兵衛

「ヤア、萬さんかい、どこへ」
「一寸神田まで、なアに、今日に限つたことぢやねえんですが、ほら、明日はあれでせう……」
「成程、明日は早慶戰だから用事を繰上げて今日のうちに片づけておかうてんで、いや、いゝ心掛けだ、總て野球ファンはさうありたいものだ」
「なんて、ぢや大屋さんはファンぢやないやうですね」
「いや、わしが大のファンであるからこそ、仕事は仕事、野球見物は見物として、仕事に差支へないやうに、手廻しよくやつておく、その心掛けが感心だ、と斯う云ふので」
「實ア、あつしや、明日はどうでも體が一つしかないので、どつちかフイにしなきアならない。所でもさいふ仕事を頼まれてるんですが、仕事はフイにしたつて、又幾等もあるといふもの、明日の早慶戰は、フイにしようものなら、次ぎのシーズンまで見られない。そこで仕事の方を斷りに行く所でさア」
「フーン成程、矢張り萬さんだけあるね、流石は早稻田ファンだ、感心しいね。なんの一日や二日仕事をすべつたつて、明日の早慶戰を見ないやうぢやア、野球ファンとは言はれない譯だ」
「え、さうですとも、それにあつしや、自分も野球が飯より好きだけれど、うちの千太郎が小學校で選手をやつてゐましてね、それが迚も野球の天才だらうと言はれるほど巧いので、將來はこいつを物にしてやりたいと思ひますので、それには親爺がどうしても野球通になつておかないと具合が惡いと思つて」
「さう／＼千坊は大層うまいんだつてね。感心なもんだ。トン／＼と藁を踏んでゐる疊職なんかの倅に、飛んだ息子が出來たもんださ……」
「へえ、何ですつて？」
「今日の時勢は、學問なんかもうどうだつていゝんだ。何でも一技一能にすぐれて居れば、世の中へ出て失業などゝ云ふことはない。チヤランポランの出鱈目だつて、上手に喋れば漫談家ですが言つて立派に飯が喰つて行ける。だから野球が天才だつたら大したもんだ。中學校へ入つて早く中學野球の甲子園の檜舞臺に立つて、一手柄顯はそうものなら、早速各大學の野球部から眼をつけられて、入學試驗ぬき學資要らずで、大學へ入れてくれる」
「へえ、そんなうまい具合になるんですかね」
「それどころぢやない、下宿だつて、野球部の費用で立派な合宿所といふものが建てゝあつて、そこで御馳走ばかり喰べて、練習をやつて居ればそれでいゝんだ、冬は暖かい伊豆方面だとか、時には臺灣までも避寒して練習をする、夏は北海道、樺太へ避暑だ。どうだね、斯う言つちや失禮だが、一日一兩二分や二兩の稼ぎをしてゐる疊職では、倅を大學へ入れるなんて思ひも寄らないことだらう。それが野球さへ巧ければ、贅澤三昧をして大學を卒業することが出來ようと云ふのだ」
「へえ、そんなうまい具合になるもんですかね」
「大學を卒業すれば、今度は銀行會社から引張りだこだ。考へても見るが宜い、今日は大學卒業生の大洪水で、餘程運のよい者でないと、學校を出て直ぐに就職など思ひも寄らない。なんでも卒業生の一割位で、あとは皆就職難だ。中には電車の車掌になるものもあり、法學士でおでん屋に身を落してゐるのもあり、大學まで出た者が、世の中へ出て働かうにも職がない、喰つて行かれない、そんな馬鹿げたことがあるか、あんまり世の中がべらぼうだ――斯う考へるやうになるさ、もうソロ／＼赤い方だ」
「なるほどね、ソロ／＼赤行囊で」
「いや、赤といふのは赤行囊犯人のことではない、赤化だ」
「なアるほど、ヂリ／＼と焦慮て來て、せつかちにもなりませう」
「焦慮るね、せつかちではあいよ、左傾思想のことだ。左だ」
「はゝアん、左ぎゝのことですかい、燒け糞になつてカフエーを飲み歩くんですね」
「いやんなつちまふね。あさいゝや、これはお前さんには解らないさして……」
「冗、冗談でせう、思ふやうに口が見つからなくて、やけのやん八になり、錢がありもしないのに、カフエーを飲み歩くといふ當人のその心持が、分らないでどうしますかね。現にあつしが世帶を持つ少し前にや、矢張りその方だつたのさ、ほんの僅かばかり資本がありさへすりやアちやんと店を持つことが出來るんだが、その資本が出來ない。稼いで資本をつくらうにも、不景氣でから仕事がありやしない。全くヂリ／＼して、赤化して、左傾して、左ぎゝになつて何でも彼でも叩き毀つちやア、電氣ブランを引つかけたもんでさ」
「あゝもうその邊でいゝ、お前さんのその話は耳にたこが出來るほどご聞かされた。所でお前さんは、それほどご野球に熱心なら、野球規則などは無論のことだし、色々野球の專門語も知つてるだらうね」
「知らなくつてどうしますかね」
「それは感心だ、それでは私が少しばかり質問しよう、選手の服裝のこと、あれは何んと云ふね」
「あ、あの牛乳配達のやうな身ごしらへですか、あれはミルクホールです」
「ミルクホール？は、ア選手の服裝を牛乳配達のやうだと思ひ込んでゐる所からの間違ひだな、あれはミルクホールではない、ユニフオームだ」
「大したちがひぢやないや」
「球を打つ棍棒がバット、球がボール、あの座蒲團みたいなものが三つあるがあれを知つてるかね」
「あ、ありやベストでせう」
「奇拔だね、どうしてベストと云ふんだね」
「だつて人間より先きにあれに球が屆くと、人間が死ぬでせう」
「なるほど、人間を殺すからベストか、あれはベースと云ふものだ。それでは、打者がカーンとかつ飛ばして、空高くボールが揚つたことを何と云ふかね」
「そんなことはまだ研究してゐませんや」
「あれはフライと云ふんだ」
「成程うまく言つたもんですね、揚つたらフライ、ぢや揚らなかつたらコロツケですか」
「喰ひ意地が張つてるね。地を這ふのはゴロと云ふ」
「フライに對して語呂が惡いや」
「ホームランといふのはどういふことだね」
「ホームラン、はてな、ホームランは何だつたつけな、スヾランは花だし、オイランは女郎だし、カクランは霍亂だし……」
「ホームランを知らないやうぢや野球を見に行つたつて面白くないだらう」
「なアに、そんなものが分らなくたつて、見てりやア結構面白いんでさ。時々強打者が出て來て、カーンとかつ飛ばした球が、芝生の見物の中へ飛込んで、打つた奴が韋駄天走りで、グルツと廻つて來るなんぞは、たまらなく愉快ですよ」
「それがホームランさ、萬さん」
「へえ、あれがホームラン、ぢやなんのことはない、あつしが嬶の橫ツ面を引ツ叩いた時、嬶の奴眼が廻つて、茶の間をグル／＼やると同じことでさ。野球試合も夫婦喧嘩と似た所があるんですね」
（完）

清史画

一年前の回顧

大連海關長の罷免（六月二十五日）

總稅務司メーヅ氏が宋子文の許可を得て、廿四日突如福本大連海關長を罷免したる問題につき、外務省は二十五日守屋公使代理に訓電を發して國民政府に嚴重抗議せしめることゝなりましたが、その抗議の要旨は

大連海關設置の協定により大連海關長の更迭は豫じめ總稅務司より關東長官に警告すべき事を規定してあるに拘らず、一切斯る手續きを執らなかつたのは正に違法にして、今後右問題に關して如何なる事態が生ずるともその責任は一切國民政府にあるといふのでありました

コレラ滿洲國入り（同上）

二十五日、滿鐵衛生課への入報によれば、上海において猖獗を極めてゐたコレラは遂に十八日、山海關に入り、患者三名發生、そのうち一名死亡し、滿洲國はじめ關係方面ではいよ／＼防疫に必死となりました

八海關を實力接收（同二十六日）

大連海關問題は世界環視の裡にいよ／＼ピッチをあげ、滿洲國政府は二十六日長文の聲明書を發すると共に、事態一日も猶豫することの出來ないのを見てとつて大連を除く奥地―營口、安東、ハルビン、龍井村、琿春、綏芬河、愛琿、滿洲里―八海關の實力接收の最後の切札を使用しました、また大連海關は日本人職員六十五名が團結して辭職し、今後滿洲國海關のために盡力すべき旨を宣言しました

日滿人百三名人質（同二十七日）

二十七日午後五時半、泰山支線營口支線營口驛に到着する筈であつた旅客列車は盤山大窪間で匪賊に襲撃され邦人三名、滿洲人百名人質として拉去されましたので、急報に接した王殿忠の部下三百名は午後六時現場へ急行しました

全滿郵便局閉鎖（同二十八日）

南京政府交通部は滿洲國の海關接收の報復手段として
一、全滿郵便局の封鎖命令を發し同時に從業員の關內引揚げを命ず
一、滿洲國切手を貼附せる郵便物は無切手郵便物として取扱ふ
一、歐洲行郵便物の滿洲經由を停止し一切海路を取る
といふことに決定したと南京電報は報じました

ギャング哈市橫行（同二十九日）

ハルビン市中には黑龍と稱するギヤングが橫行し、白晝公然と自動車を乘りつけて坐り込んだり、富豪や子供を拉致したり、市民を極度に恐怖せしめてゐましたが、警察當局も神出鬼沒の彼等の早業には手を燒きました

コレラ大連に侵入（同三十日）

營口に眞性コレラ患者續々發生して滿洲居住民は戰々恟々の有樣でありましたが、大連香爐礁に發生したコレラは三十日正午眞性と決定、大連人の神經は極度に尖銳化し、關東廳では防疫區域を擴大していよ／＼關東州全土に警戒網を張ることになりました

滿洲國新中央銀行（七月一日）

滿洲國中央銀行の開業式は一日午後一時から首都新京の同行內で擧行されましたが、この日執政は物々しい自動車警戒のもとに式場にのぞみ、開業式にあたつての訓辭をなし、ついで榮厚總裁の挨拶、臧總理の訓示、來賓代表の祝辭があつて同二時半めでたく式を閉ぢ、いよ／＼意義深い第一歩を踏み出すことになりました

オイ小供が泣くとウルサイぢやないか少し諸に遊んでやれよ
幸

お姉さま許り 佐方幸

家庭滿洲語 紙上講座

第十四課

一 (1) 門裏頭 (2) 門外頭 (3) 屋子裏頭 (4) 窗戶外頭

二 (1) 裏頭有人麼 (2) 裏頭沒人 (3) 外頭有人呢 (4) 外頭有人 (5) 外頭有甚麼人 (6) 外頭有學生

三 (1) 桌子 (2) 椅子 (3) 凳子 (4) 床 牀（同上）

四 (1) 上頭有電燈 (2) 底下有桌子 (3) 上頭有書包 (4) 裏頭有書

【譯語】

一 (1) 門（戶）の內 (2) 門（戶）の外 (3) 部屋の中 (4) 窓の外

二 (1) 中に誰か（人が）居るか (2) 中に誰も（人が）居ない (3) 外には…… (4) 外には人が居る (5) 外に誰が居るか (6) 外に生徒が居る

三 (1) 机 (2) 椅子 (3) 腰掛 (4) 寢臺

四 (1) 上に電燈が附いて居る (2) 下に机が置いて有る (3) 上に學生鞄が載つて居る (4) 中に本が這入つて居る

【說明】

呢 は疑問を表す言葉に用ひられるのである。

有 といふ言葉の意義は極めて廣く、有る又は居るといふ事以外に例へば（四）の「附いて居る」「置いて有る」「載つて居る」「這入つて居る」等の邦語は總て有の一語を以て濟ませるので有るから頗る簡便である、尚は夫等の否定の場合もすべて沒有の一語で事足るのである

前週の答

(1) 都在那兒 (2) 都在裡頭 (3) 學生在那兒 (4) 都在外頭 (5) 一個在上頭 (6) 一個在底下 (7) 您的在那兒 (8) 我的在這兒 (9) 沒有他的麼 (10) 他的在那兒

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

(1) 門の內に犬が居る (2) 門の外に人が居る (3) 机の上に學生鞄が載つて居る (4) 寢臺の下に猫が居る (5) 猫は寢臺の下に居る (6) 窓の外には誰も居ない (7) 部屋の內に誰が居ますか (8) 先生は內に居る (9) 誰が外に居るか (10) 生徒は外に居る

今週の獻立

佐藤郁子

	朝	晝	晩
日	蕪のみそ汁、燒のり	冷むぎ、フルーツ蜜豆	玉子豆腐の清汁、すゞきの鹽むし、小茄子丸煮
月	豆腐のみそ汁、蕗の佃煮	あら卷鮭、うづら豆	牛片と三葉の清汁、ソースペリーステイーク、ほうれん草おひたし
火	おさし玉子と、葱のみそ汁	オムレツ、刻みキヤベツ、三杯酢	青豆の御飯、茗荷と椎茸の清汁、高野豆腐の煮付
水	不斷草のみそ汁、はぜの佃煮	卵の若炒り、らつ京	茶わんむし、牛肉とトマトの煮込み、いかの白酢和へ
木	筍のみそ汁、鹽昆布	鯖たまり燒、赤大根の酢物	トースト、ほうれんそうスープ、ロールキヤベツ、ハムサラダ
金	おろしもの、みそ汁、海苔佃煮	玉子燒、とろゝ昆布清汁	莢いんげん玉子とぢ、あぢの大根卸し和へ
土	大根のみそ汁、蛤の時雨煮	チキンライス、野菜サラダ	鯛の刺身、あらの吸物、野菜クリーム煮